

景気動向調査結果

(令和3年 10 月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 3 年 10 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 3 年 11 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、451 社（製造業 244 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 207 社）で、回答率は 64.4 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和3年10月の景気動向

1 総論

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるなか、持ち直しの動きに一服感がみられます。

製造業の業況は、一部に新型コロナウイルス感染症による需要の減少や自動車減産の影響がみられるものの、海外経済の改善もあって、電機・電子や精密などで受注、生産が堅調に推移していることから、3期連続のプラス水準となりました。

非製造業の業況は、情報サービス業で改善したものの、仕入価格の上昇や新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業種で悪化し、全体では2期連続の悪化となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和2年10月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は34.8となり、前回調査時（令和3年7月）の50.6から15.8ポイント悪化しました。

3か月前（令和3年7月）と比較したD Iは7.4となり、前回調査時の23.9より16.5ポイント悪化したものの、5期連続のプラス水準となりました。

また、3か月後（令和4年1月）の予想では、D Iは4.6となり、3期連続のプラス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン、プリンターは、在宅需要が継続しており、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加しています。抵抗器・コンデンサ等は、国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産に増加がみられます。

イ 一般機械では、工作機械は、一部に部品不足の影響がみられるものの、半導体市場の活況により、半導体関連向けで、受注、生産が順調に推移しているほか、自動車関連では、海外向けを中心に、受注、生産が堅調に推移しています。建設機械は、国内向けでは、受注、生産は底堅く推移しているほか、北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が持ち直しています。

ウ 精密では、時計は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内の需要が低迷しているものの、北米や欧州など海外で需要に回復がみられ、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。レンズは、自動車関連向けで、自動車減産の影響を受け、弱含んでいるものの、通信機器向け等の需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。圧力計は、半導体関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、取替需要の減少により受注、生産に一服感がみられます。

エ 自動車部品では、部品不足に伴う完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。酒類は、清酒やワインは、緊急事態宣言等が解除されたものの、業務用需要の回復に弱さがみられ、受注、生産が弱含んでいます。飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が55.0%と前回(66.5%)より減少し、「減少」とする企業が19.0%と前回(14.0%)より増加した結果、D Iは前回(52.5)より悪化し、36.0となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が31.3%と前回(38.5%)より減少し、「減少」とする企業が18.8%と前回(14.6%)より増加した結果、D Iは前回(23.9)より悪化し、12.5となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が19.5%、「減少」とする企業が18.2%となった結果、D Iは1.3となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が52.7%と前回(66.9%)より減少し、「減少」とする企業が23.0%と前回(14.2%)より増加した結果、D Iは前回(52.7)より悪化し、29.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が32.5%と前回(39.7%)より減少し、「減少」とする企業が21.5%と前回(17.3%)より増加した結果、D Iは前回(22.4)より悪化し、11.0となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が20.1%、「減少」とする企業が17.5%となった結果、D Iは2.6となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が18.6%と前回(14.0%)より増加し、「安い」とする企業が7.4%と前回(8.3%)より減少した結果、D Iは前回(5.7)より改善し、11.2となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が11.2%と前回(10.0%)より増加し、「安い」とする企業が2.9%と前回(5.0%)より減少した結果、D Iは前回(5.0)より改善し、8.3となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が9.7%、「安い」とする企業が3.8%となった結果、D Iは5.9となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が16.6%と前回(21.8%)より減少し、「苦しい」とする企業が11.5%と前回(7.3%)より増加した結果、D Iは前回(14.5)より悪化し、5.1となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が6.4%と前回(13.0%)より減少し、「苦しい」とする企業が12.3%と前回(7.4%)より増加した結果、D Iは前回(5.6)より悪化し、△5.9となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.6%、「苦しい」とする企業が9.9%となった結果、D Iは△4.3となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が35.5%と前回(44.7%)より減少し、「低下」とする企業が28.5%と前回(22.1%)より増加した結果、D Iは前回(22.6)より悪化し、7.0となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が13.2%と前回(22.9%)より減少し、「低下」とする企業が28.9%と前回(21.7%)より増加した結果、D Iは前回(1.2)より悪化し、△15.7となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が7.2%、「低下」とする企業が22.0%となった結果、D Iは△14.8となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン、プリンターは、在宅需要が継続しており、受注、生産が堅調に推移しています。
- (半導体関連・プリント基板) 国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産が増加しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 国内外の需要の増加により、情報通信関連向けや産業用途、自動車関連向けで、受注、生産に増加がみられます。
- (モーター等) 航空機向けは、小型・中型機を中心に、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。産業用途、自動車関連向けは、国内外の需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。
- (その他) カーナビゲーションは、国内需要の増加などにより、受注は堅調に推移しているものの、自動車減産の影響を受け、生産が弱含んでいます。

一般機械

- (工作機械) 一部に部品不足の影響がみられるものの、半導体市場の活況により、半導体関連向けで、受注、生産が順調に推移しているほか、自動車関連では、海外向けを中心に、受注、生産が堅調に推移しています。
- (金型) 自動車関連向けで、一部に自動車減産の影響を受けているものの、受注、生産が持ち直しています。
- (建設機械) 国内向けでは、受注、生産は底堅く推移しているほか、北米や欧州など海外向けでは、需要の回復により、受注、生産が持ち直しています。
- (農業用機械等) 新型コロナウイルスによる買い控えの反動等による国内需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。

精 密

(時 計)

腕時計は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内の需要が低迷しているものの、北米や欧州など海外で需要に回復がみられ、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

(レ ン ズ)

自動車関連向けで、自動車減産の影響を受け、弱含んでいるものの、通信機器向け等の需要の増加により、受注、生産が堅調に推移しています。

(計 器)

圧力計は、半導体関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、取替需要の減少により、受注、生産に一服感がみられます。

自 動 車 部 品

自動車部品では、部品不足に伴う完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。

食 料 品

(味 そ)

季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。

(酒 類)

清酒やワインは、緊急事態宣言等が解除されたものの、業務用需要の回復に弱さがみられ、受注、生産が弱含んでいます。

(飲 料)

飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。

織 維 ・ 衣 服

外出機会の減少により消費が低迷しているものの、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

紙 ・ パルプ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。

印 刷

印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産に持ち直しの動きがみられます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和2年10月）と比較したD Iは $\Delta 21.0$ となり、前回調査時（令和3年7月）の $\Delta 4.4$ より16.6ポイント悪化し、2期連続の悪化となりました。

3か月前（令和3年7月）と比較したD Iは $\Delta 1.0$ となり、前回調査時の $\Delta 2.4$ より1.4ポイント改善しました。

また、3か月後（令和4年1月）の予想では、D Iは $\Delta 17.5$ となりました。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、災害復旧工事が一段落したことによる公共工事の減少や、技術者不足による受注の見合わせの動きがあったほか、資材価格が上昇したことから、受注件数D I、売上高D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 17.6$ と前回（ $\Delta 11.4$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 8.8$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、民間企業のデジタル化関連投資の需要が順調に推移したほか、公共関連の受注も堅調だったことから、受注件数D I、収益率D Iが改善し、業況D Iは41.7と前回（30.0）より2期連続で改善しました。

3か月後の業況D Iは、25.0です。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染症に伴う外出控えにより衣料品などが低調だったほか、競合店との価格競争に加え、最低賃金や仕入価格の上昇などにより経費が増加したことから、客数D I、収益率D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 36.5$ と前回（ $\Delta 25.5$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 22.7$ です。

エ 卸売業

卸売業では、半導体不足による影響が続き受注や納品の先送りなどがみられたほか、原材料価格が上昇したことから、取引先数D I、収益率D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 10.0$ と前回（45.4）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 38.9$ です。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染症再拡大により落ち込んだ客足は戻りつつあるものの、感染拡大防止策の継続などにより団体利用や法人利用の減少が続いているほか、仕入価格が増加したことから、客数D I、売上高D Iが悪化し、業況D Iは0.0と前回（18.2）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、26.3です。

カ 宿泊業

宿泊業では、緊急事態宣言解除後は一部で客数が増加したものの、客単価が低下したほか、人手不足による人件費の上昇や重油の値上がりなど経費の増加もあったことから、売上高D I、収益率D Iが悪化し、業況D Iは $\Delta 13.4$ と前回（28.5）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 71.4$ です。

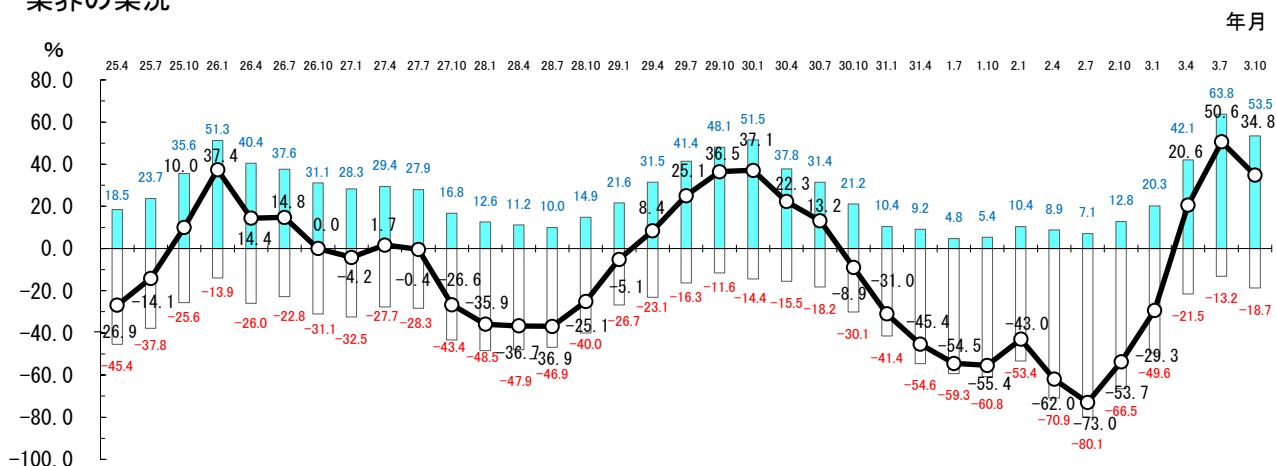
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

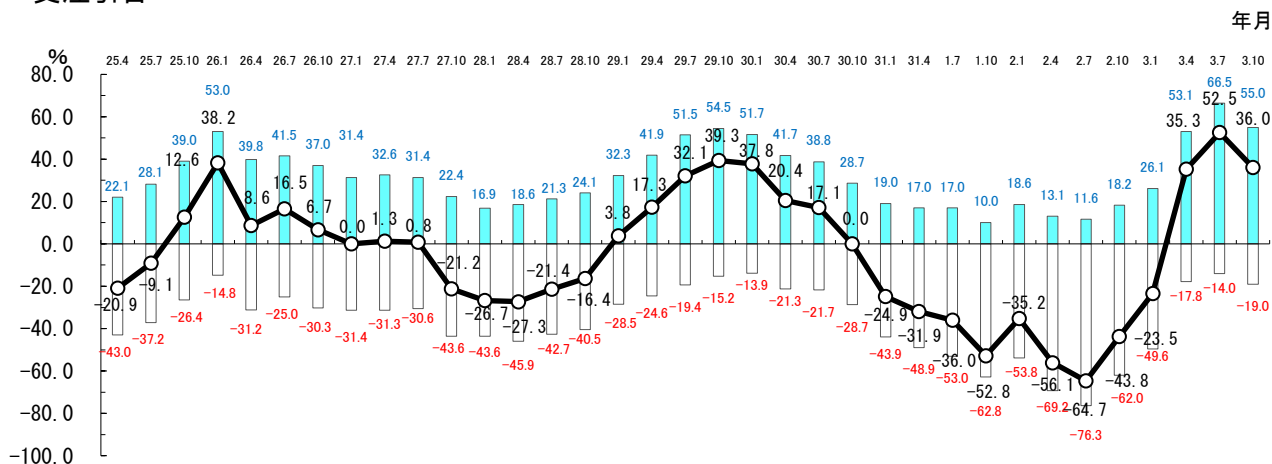
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

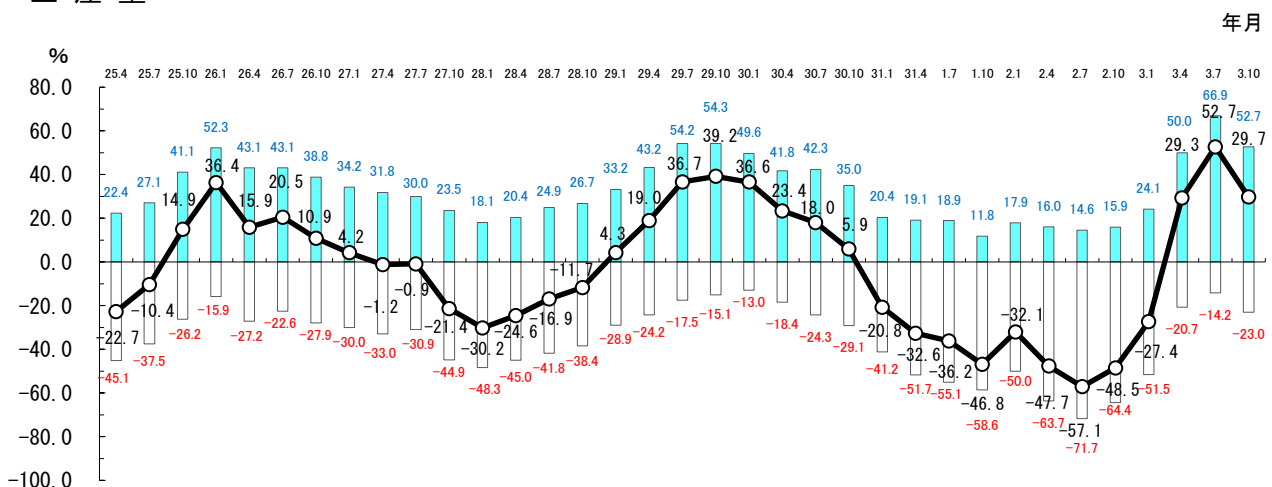
業界の業況



受注引合

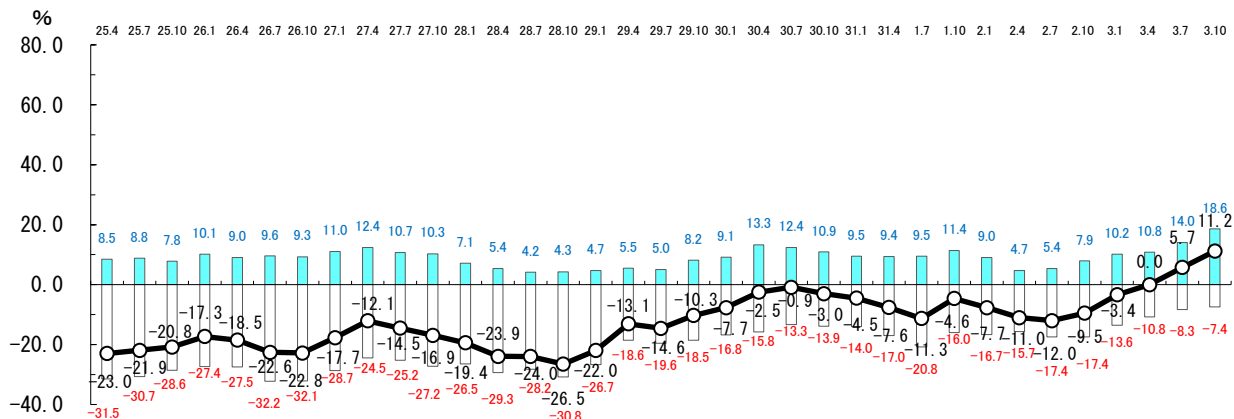


生産量



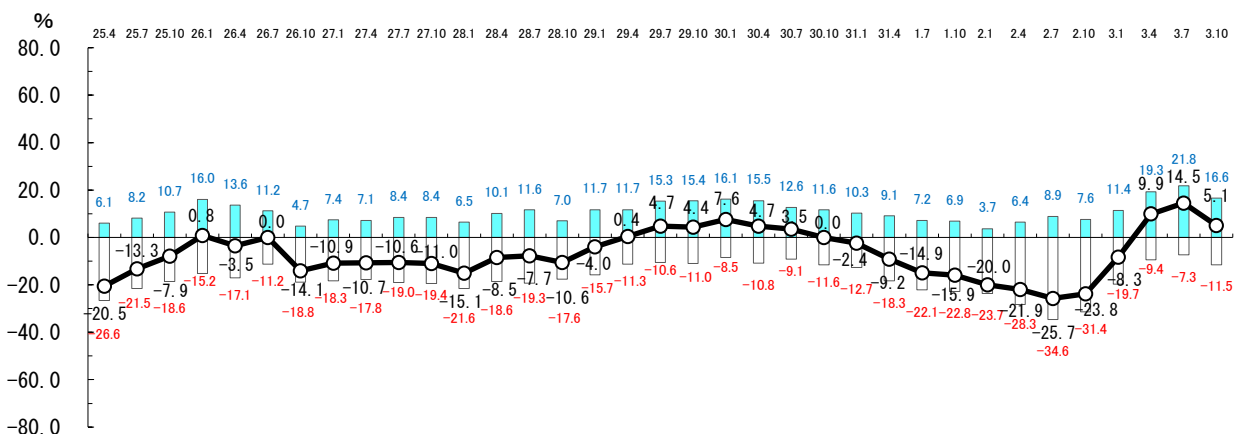
製品販売価格

年月



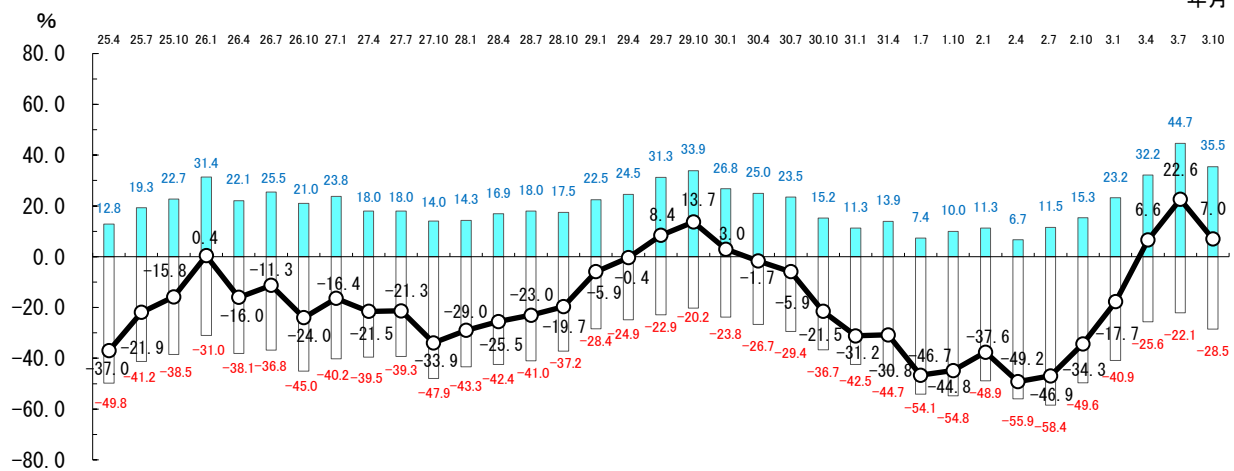
資金繰り

年月



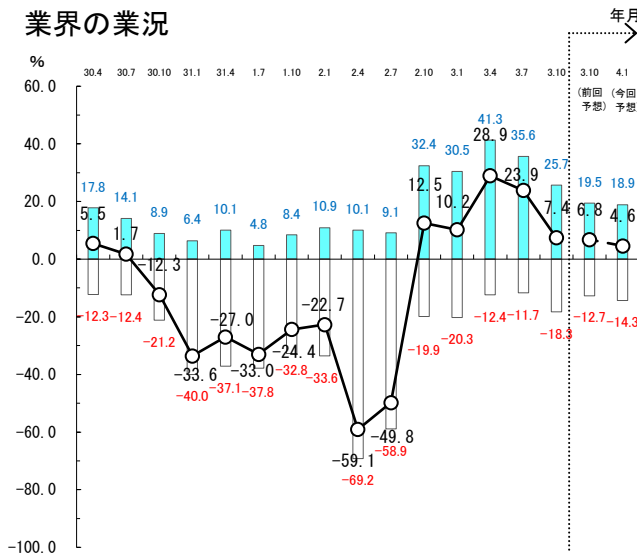
収益率

年月

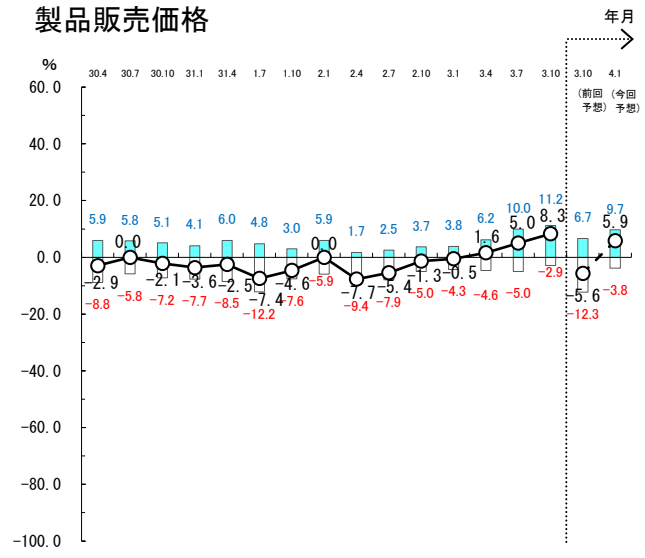


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

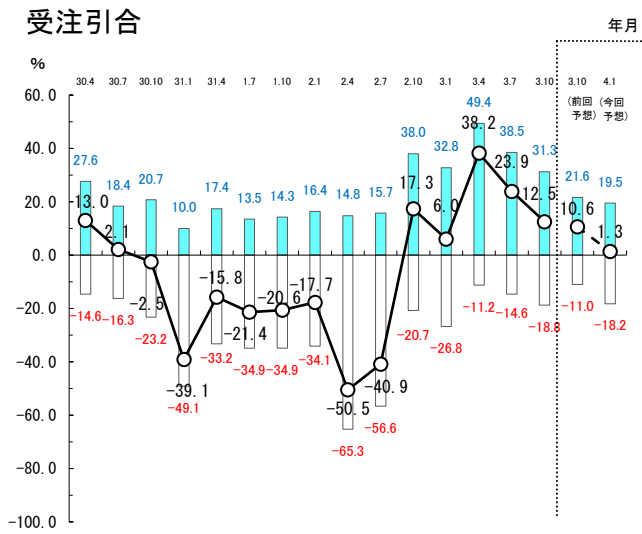
業界の業況



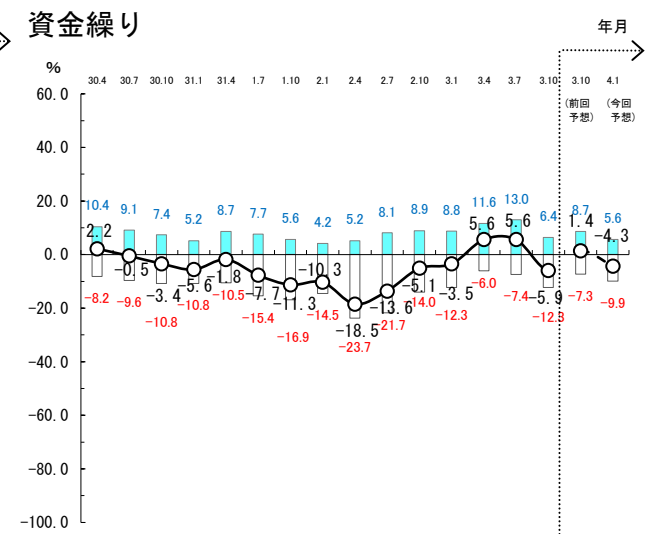
製品販売価格



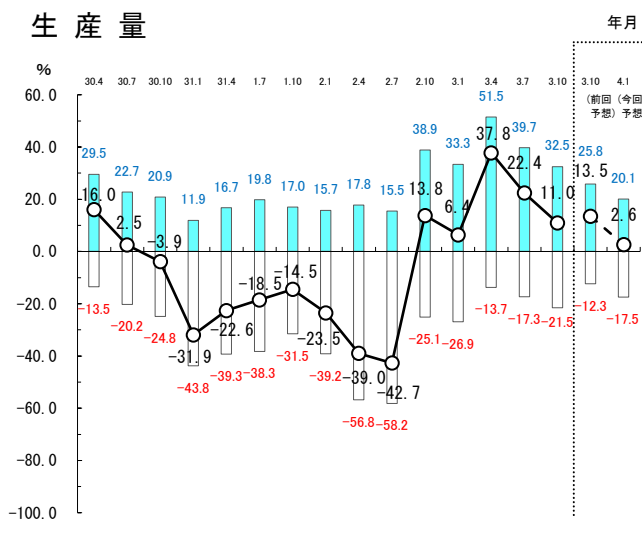
受注引合



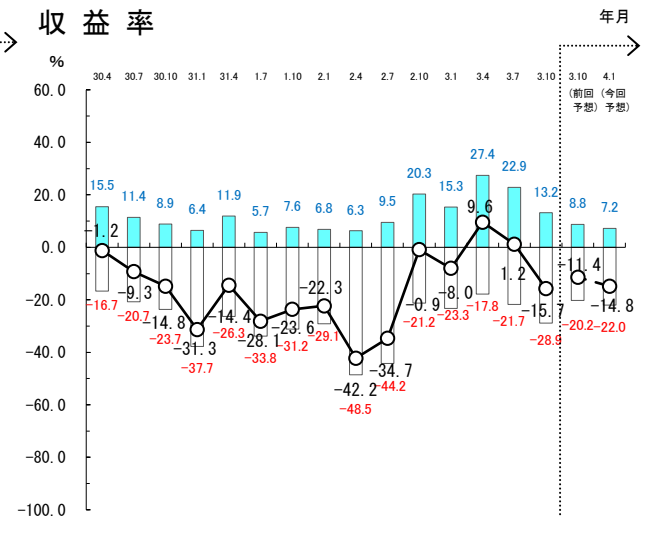
資金繰り



生産量



収益率

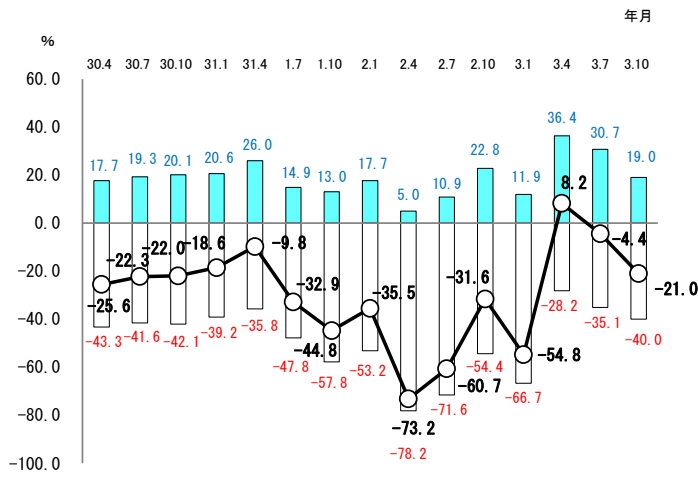


2 非製造業

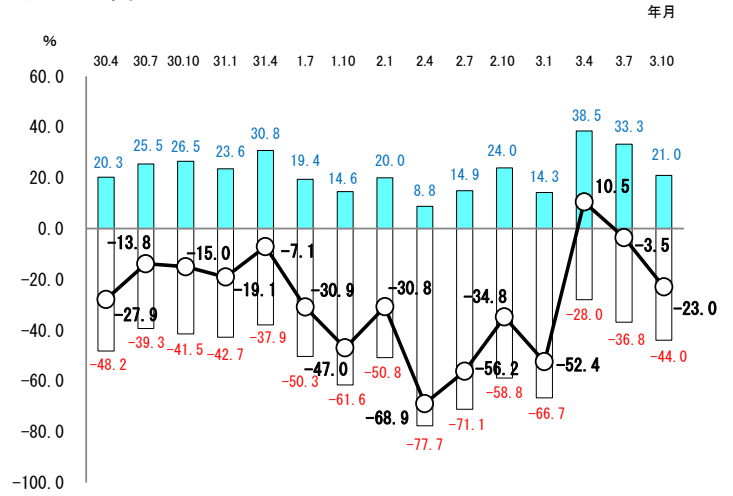
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

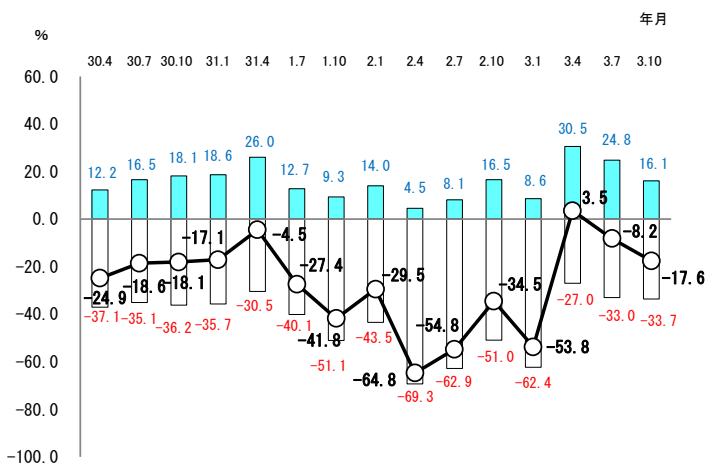
業況



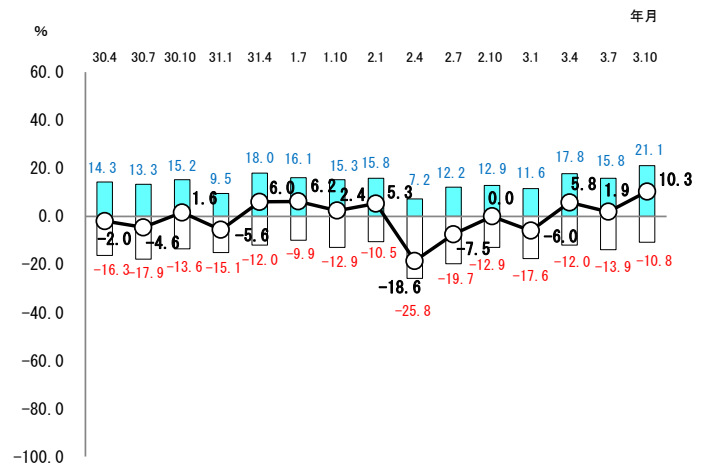
売上高



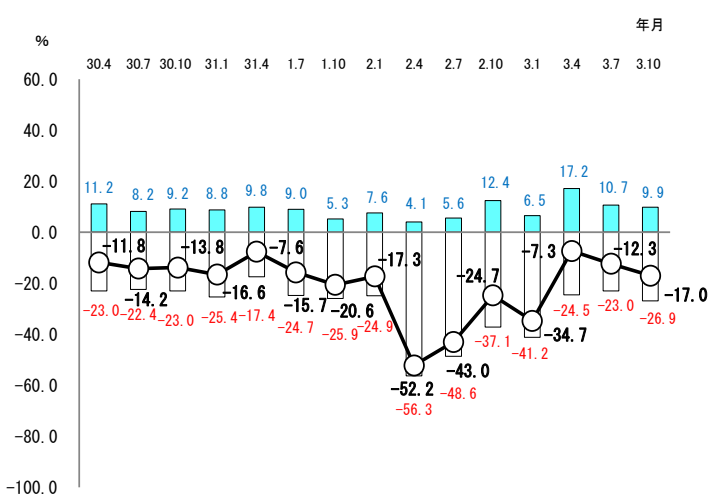
客数 (受注件数・取引先数)



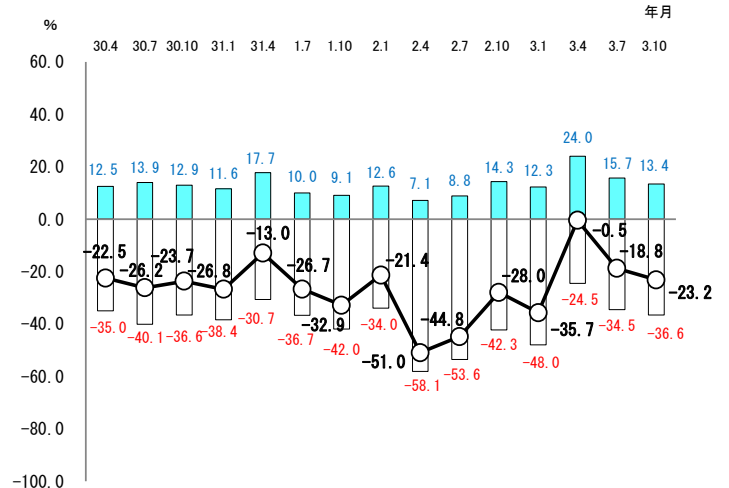
販売価格



資金繰り

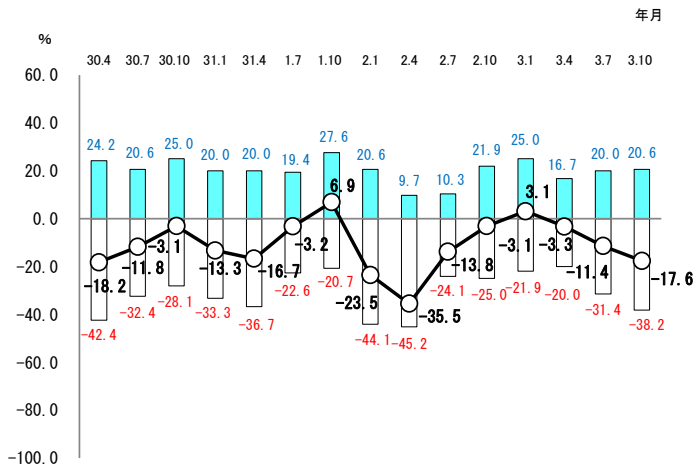


収益率

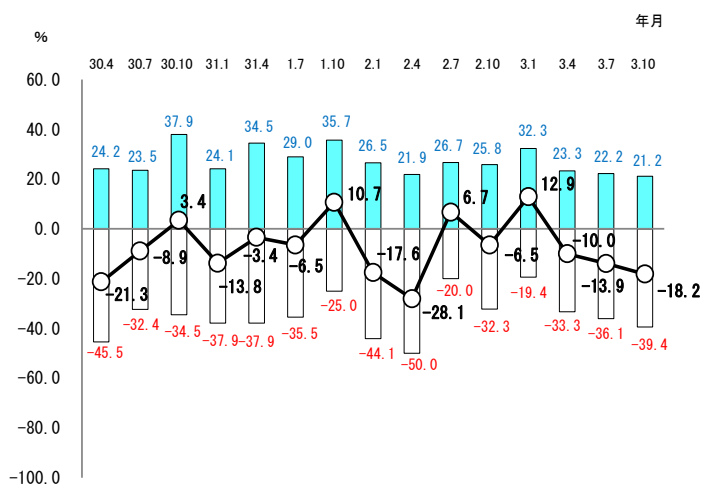


ア 建設業

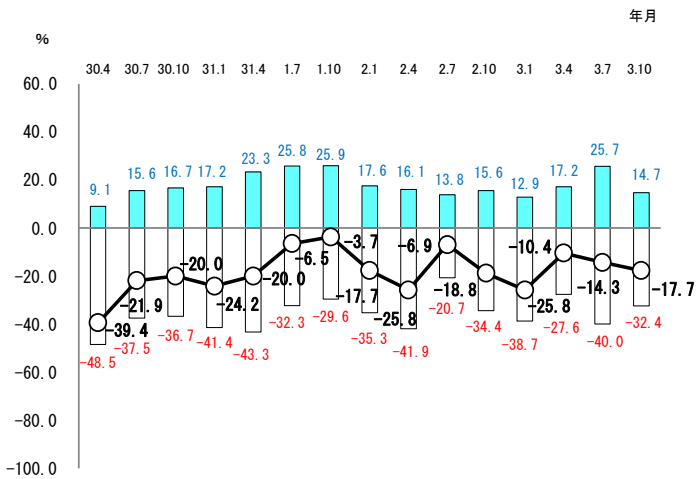
業況



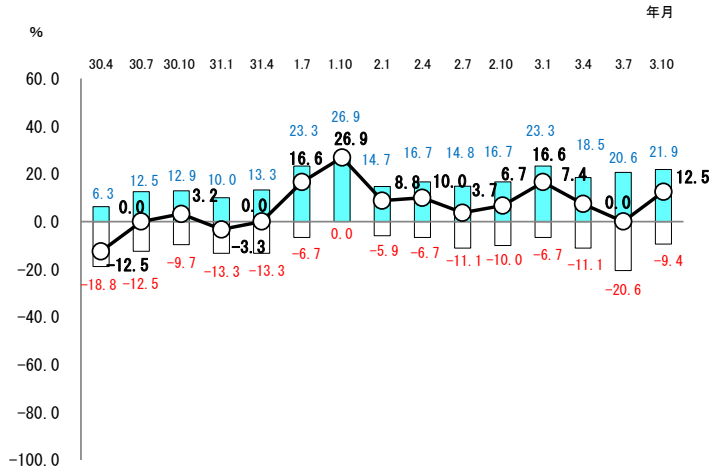
売上高



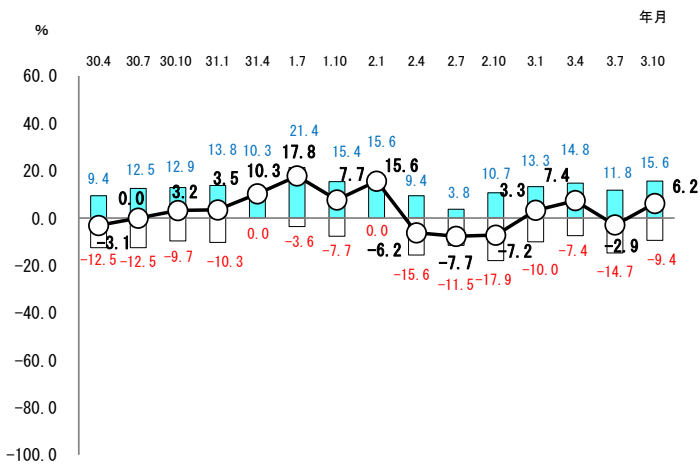
客数 (受注件数)



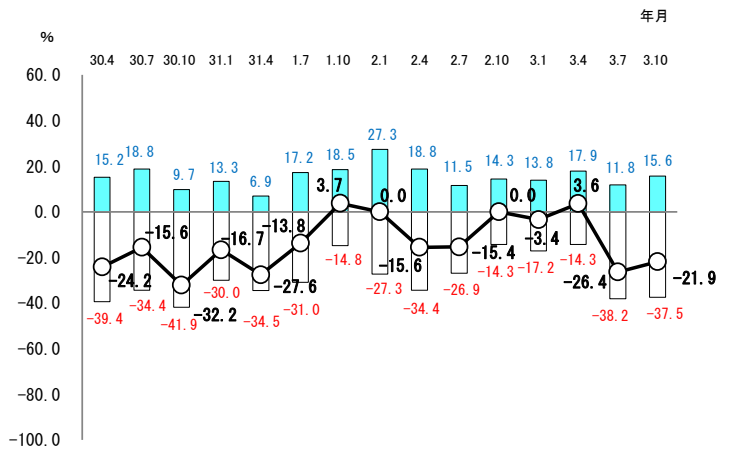
販売価格



資金繰り

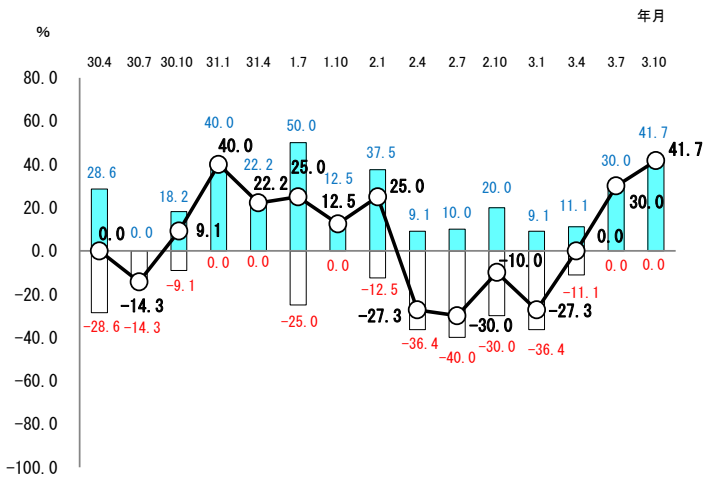


収益率

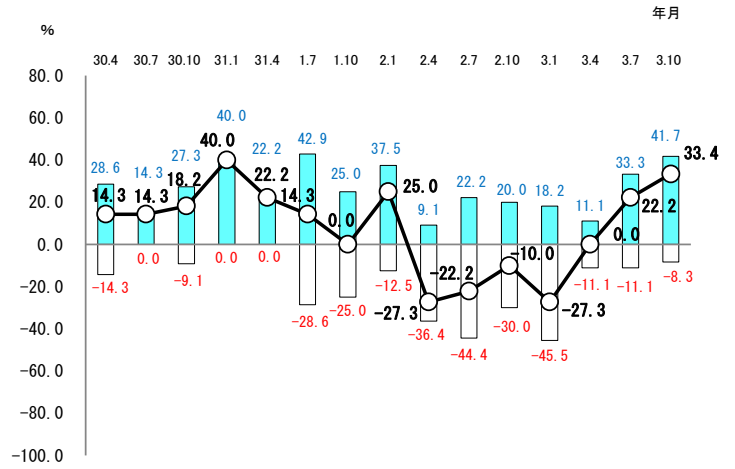


イ 情報サービス業

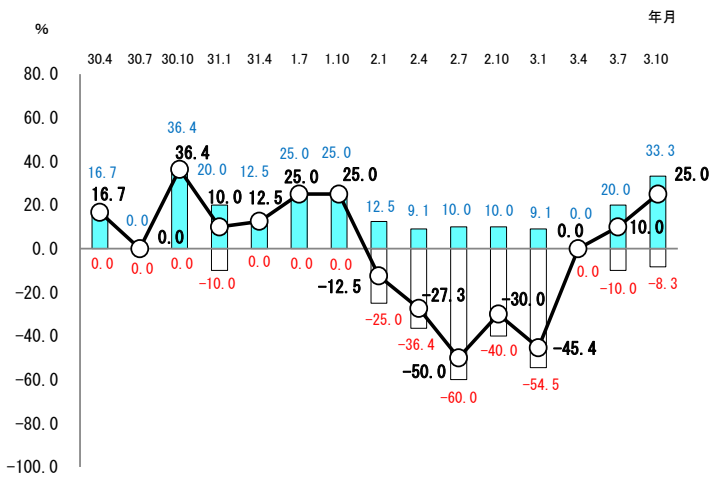
業況



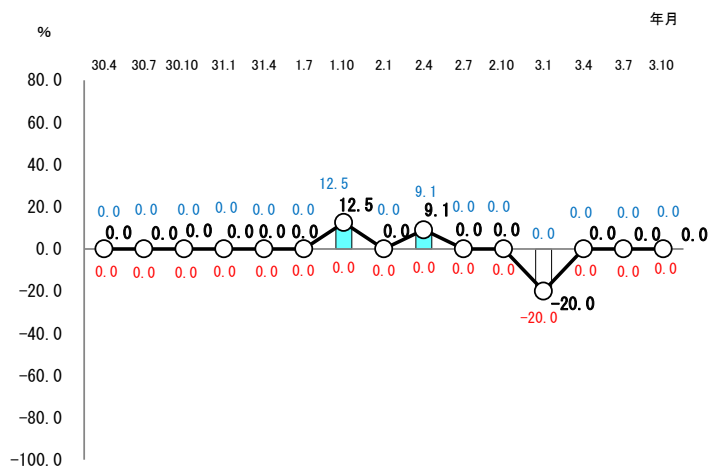
売上高



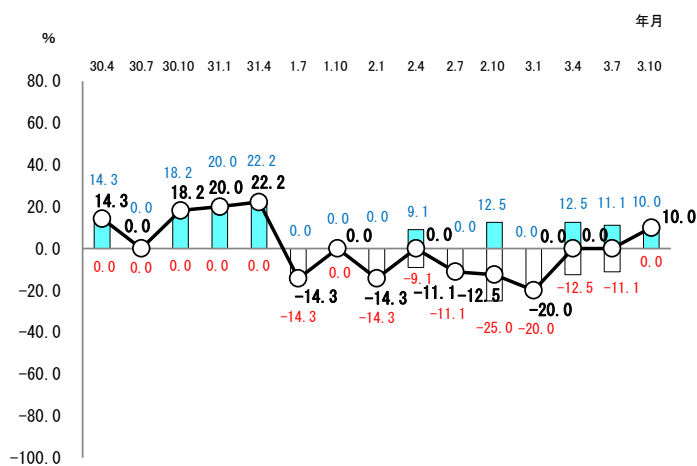
客数 (受注件数)



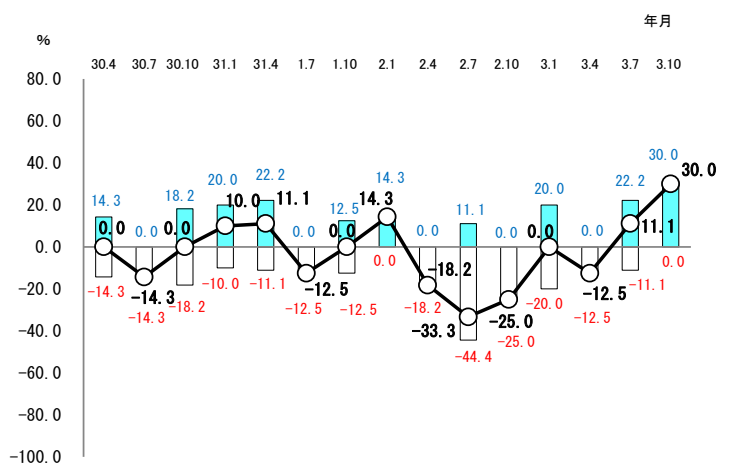
販売価格



資金繰り

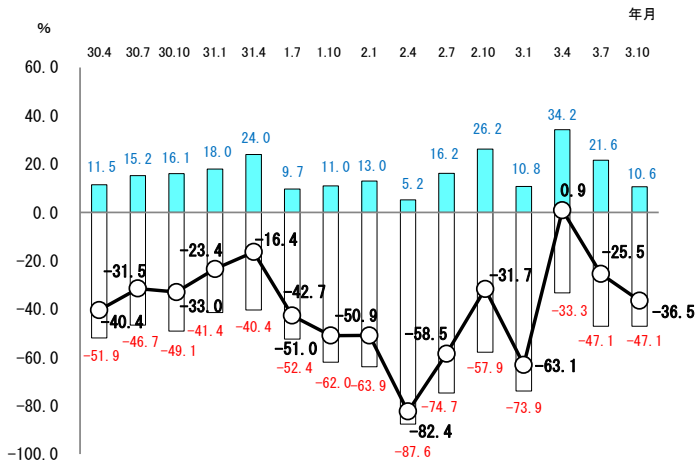


収益率

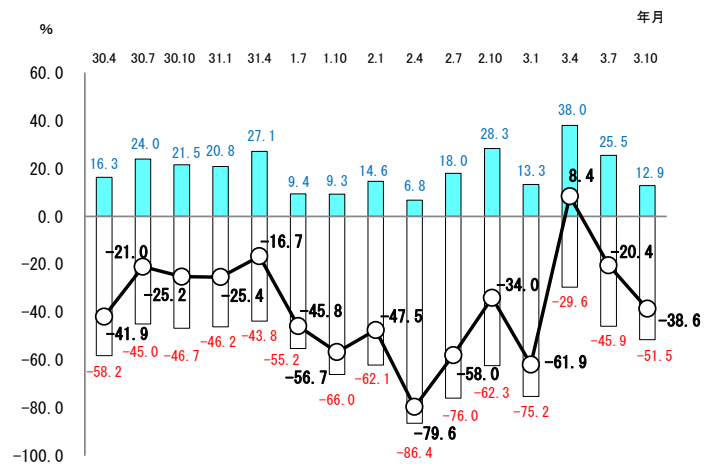


ウ 小売業

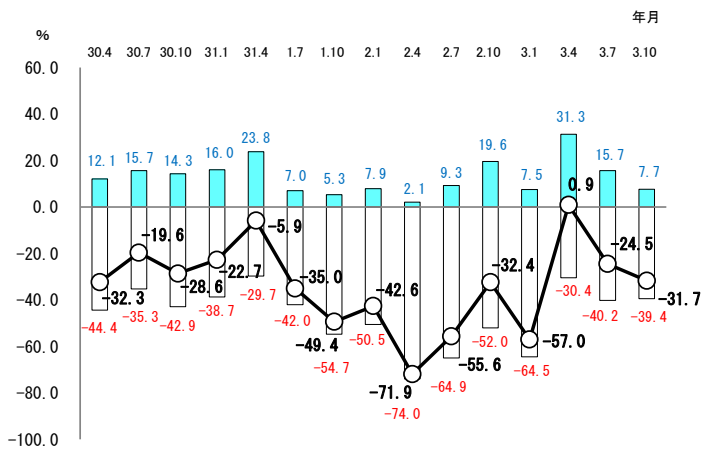
業況



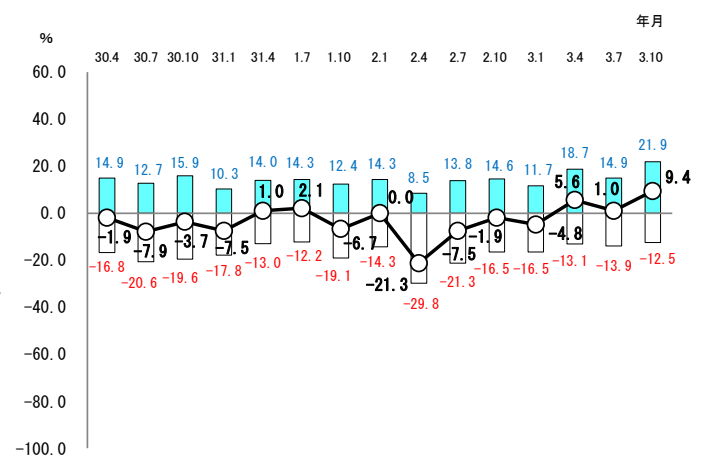
売上高



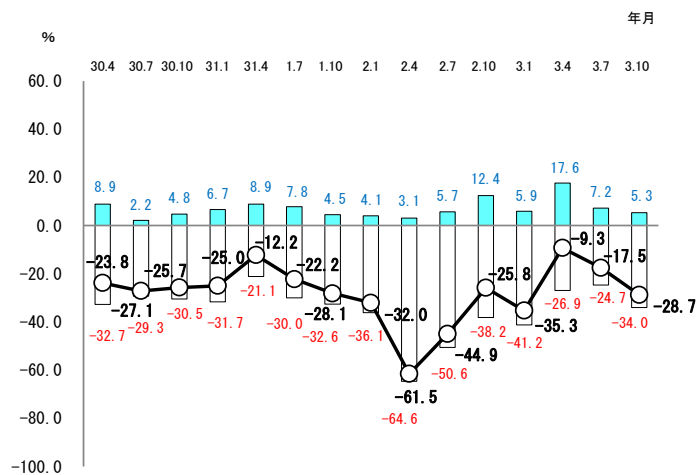
客数



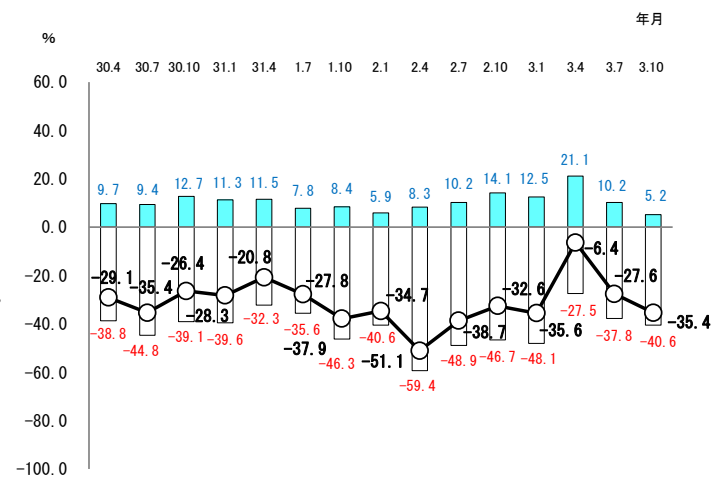
販売価格



資金繰り

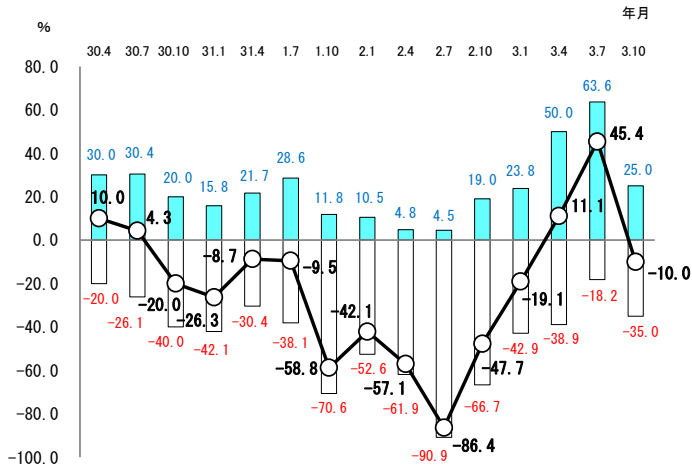


収益率

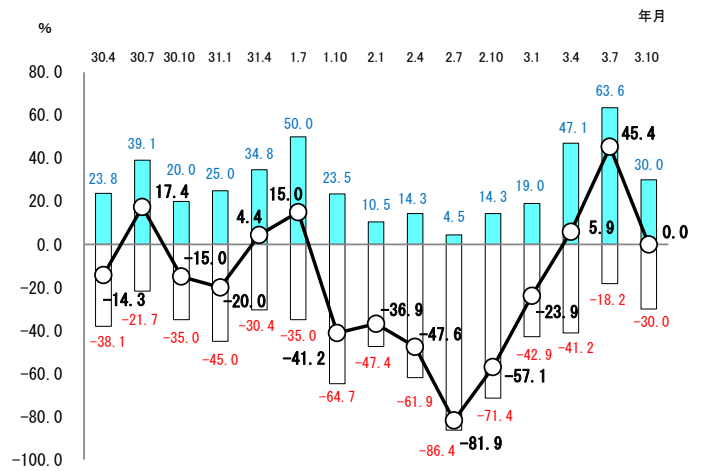


工 卸売業

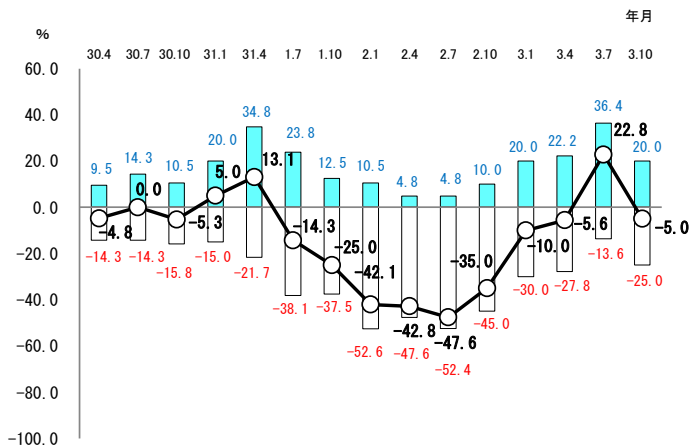
業況



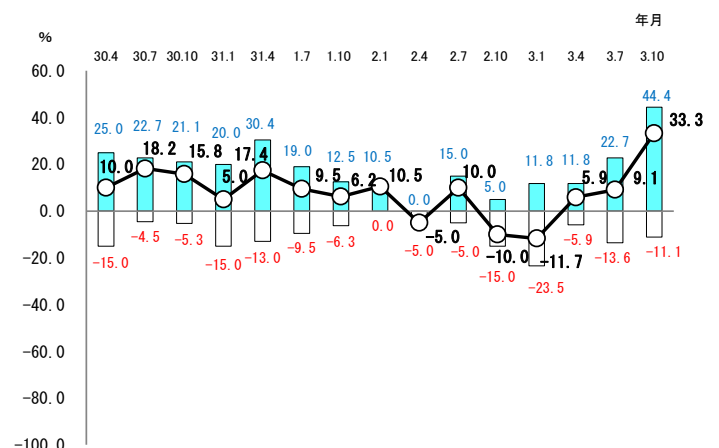
売上高



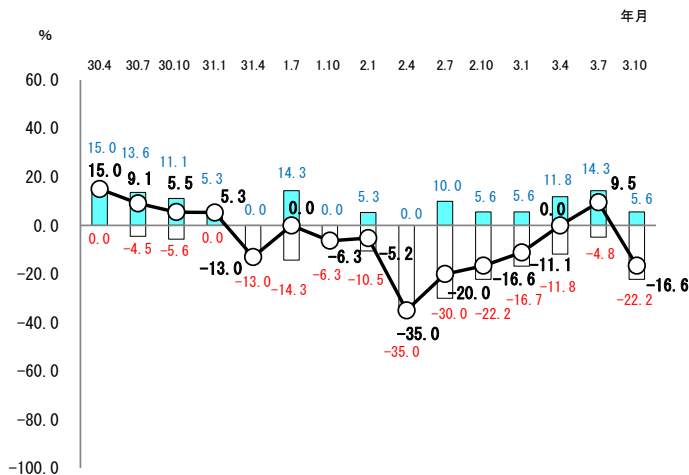
客数 (取引先数)



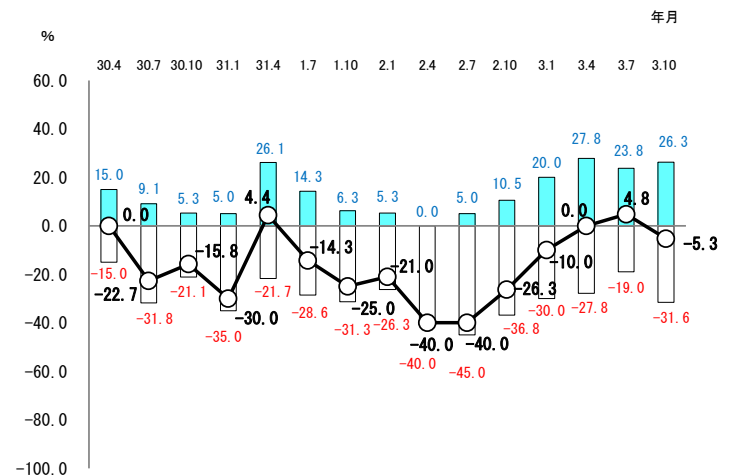
販売価格



資金繰り

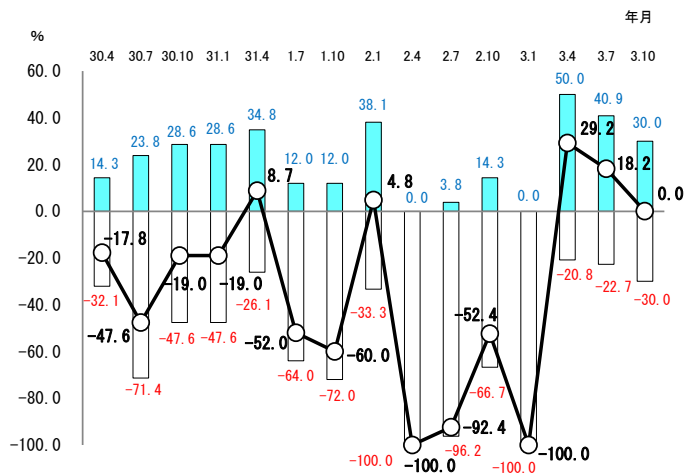


収益率

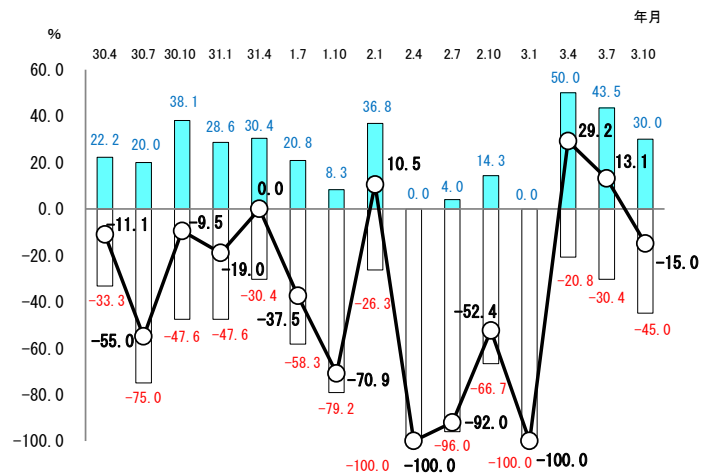


才 飲食業

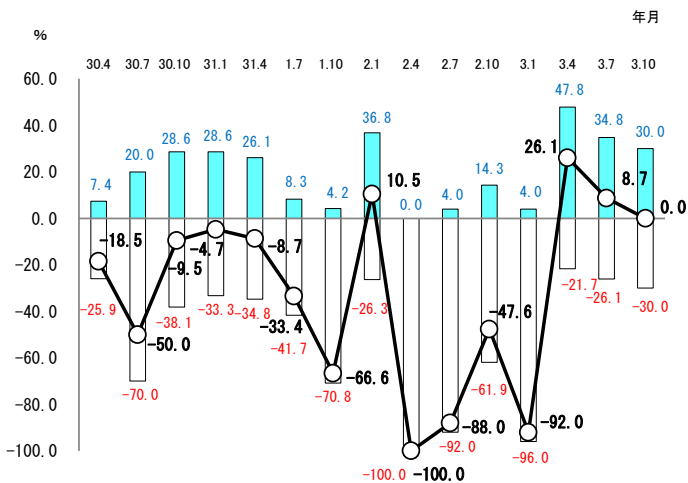
業況



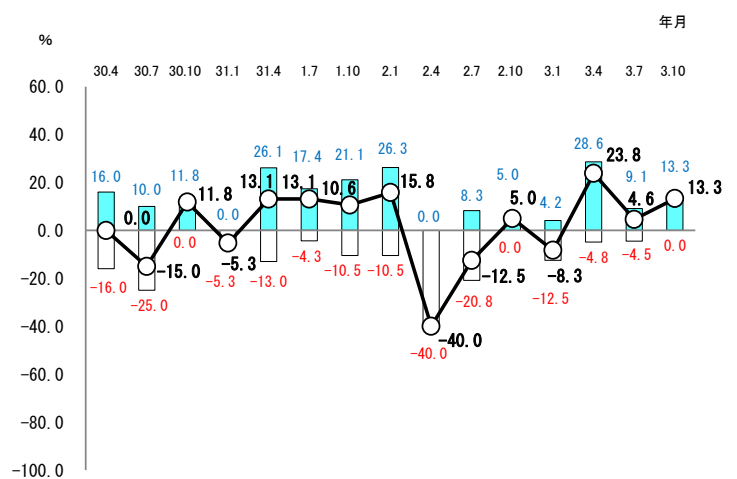
売上高



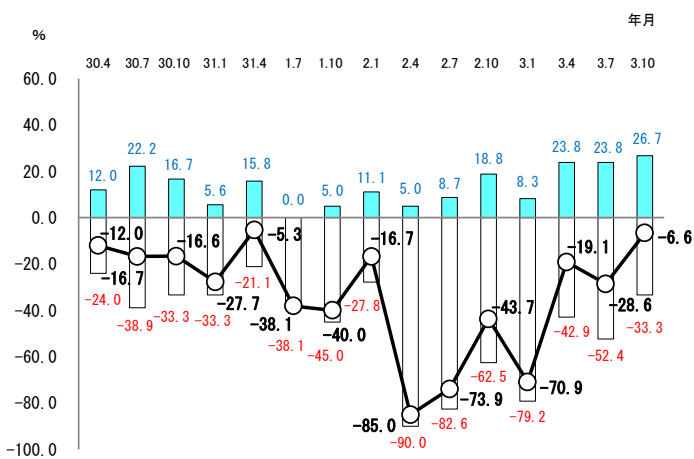
客数



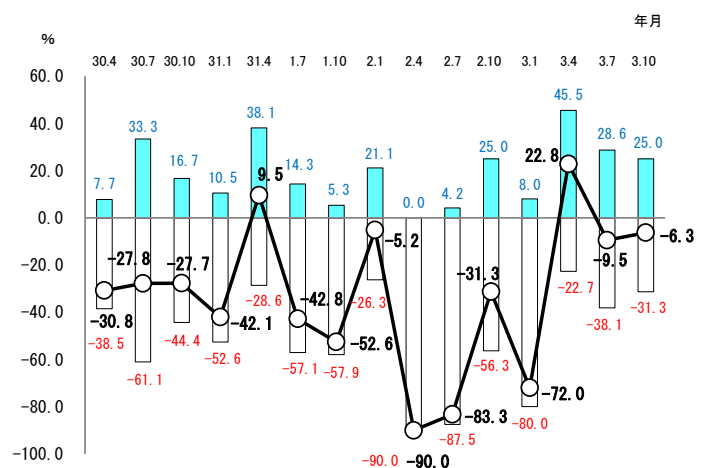
販売価格



資金繰り

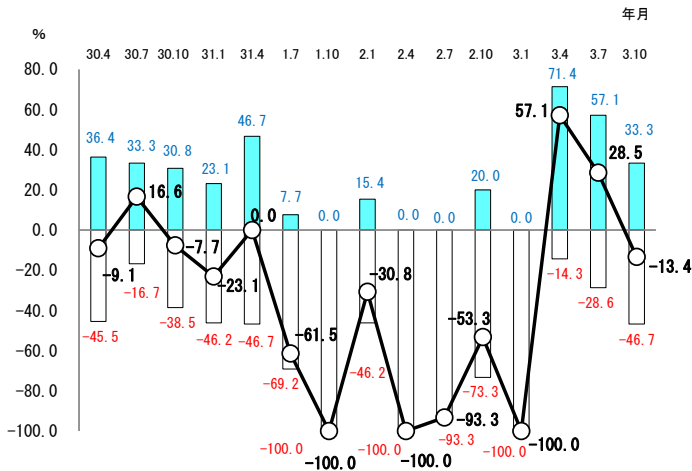


収益率

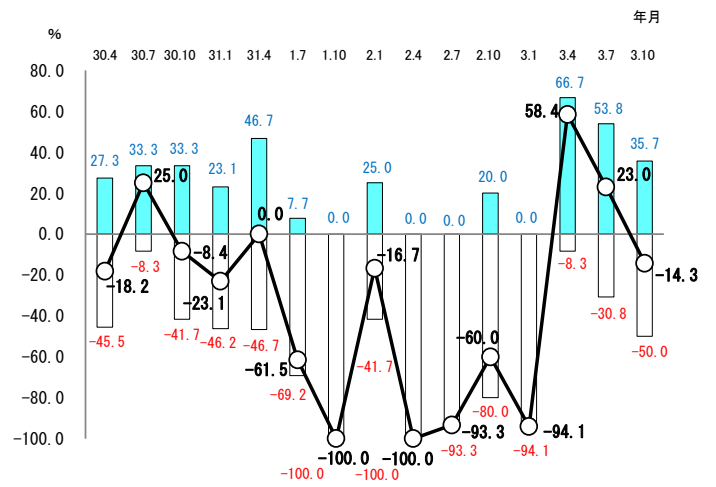


力 宿泊業

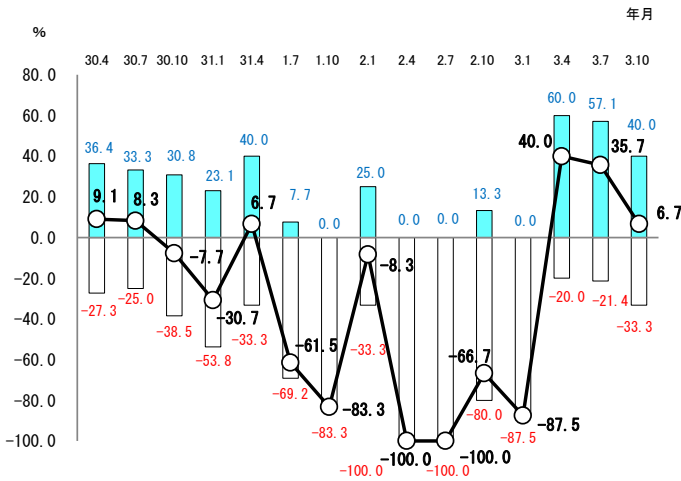
業況



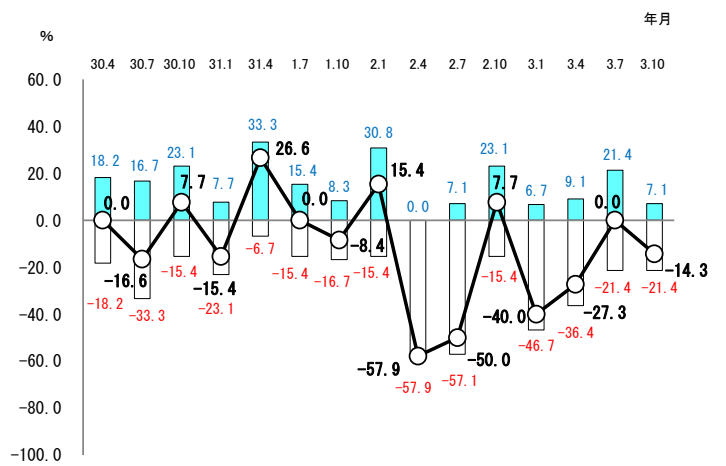
売上高



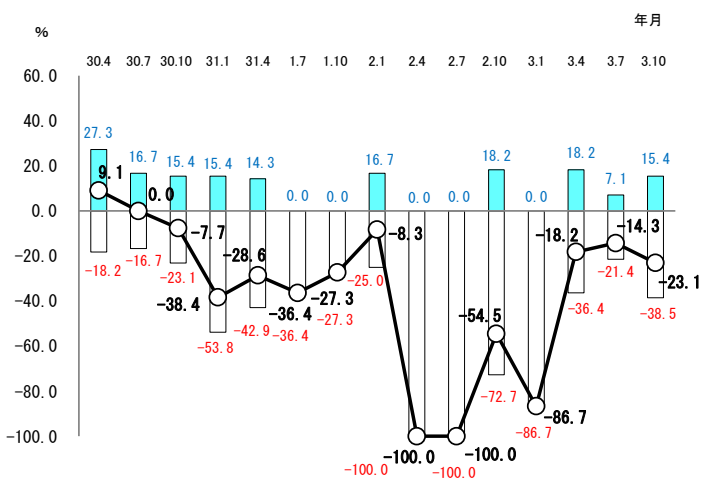
客数



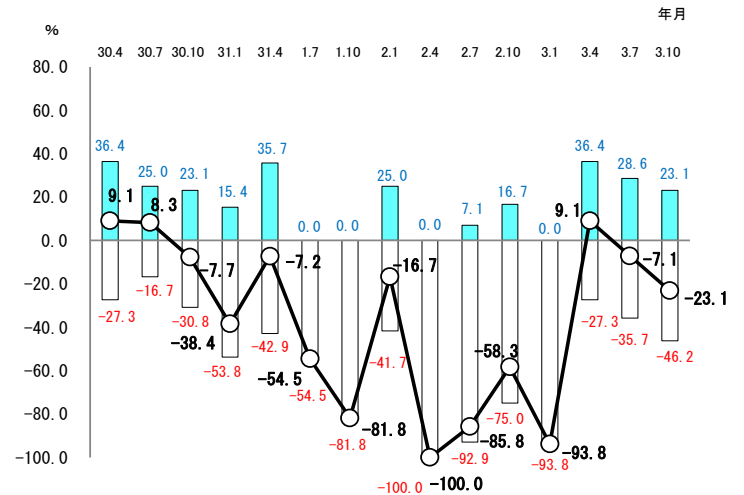
販売価格



資金繰り

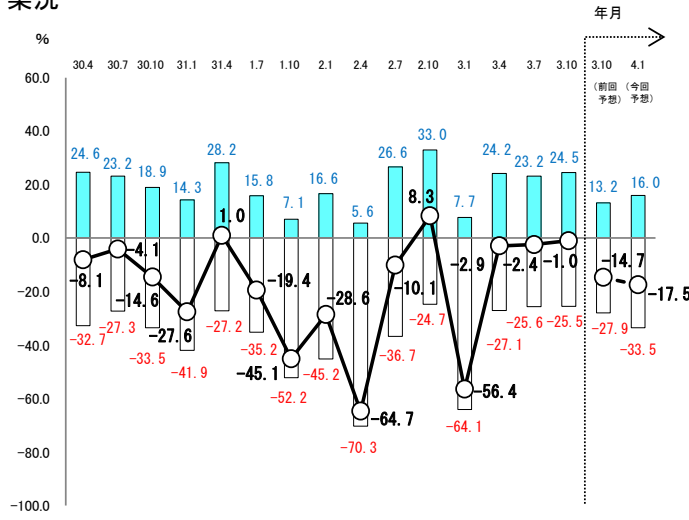


収益率

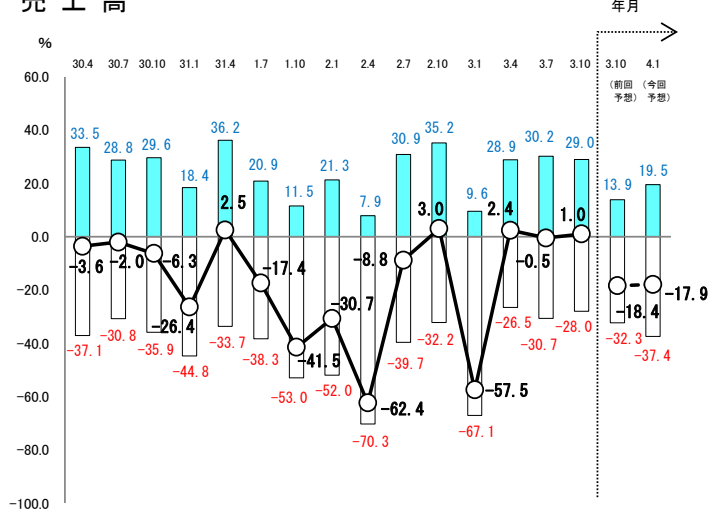


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

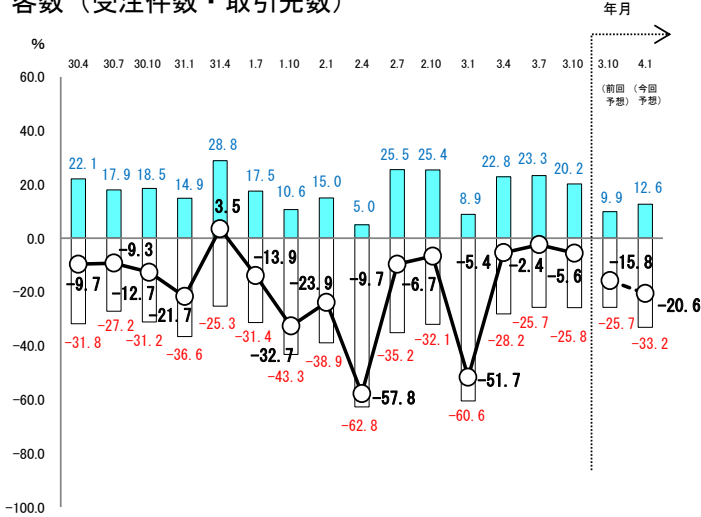
業況



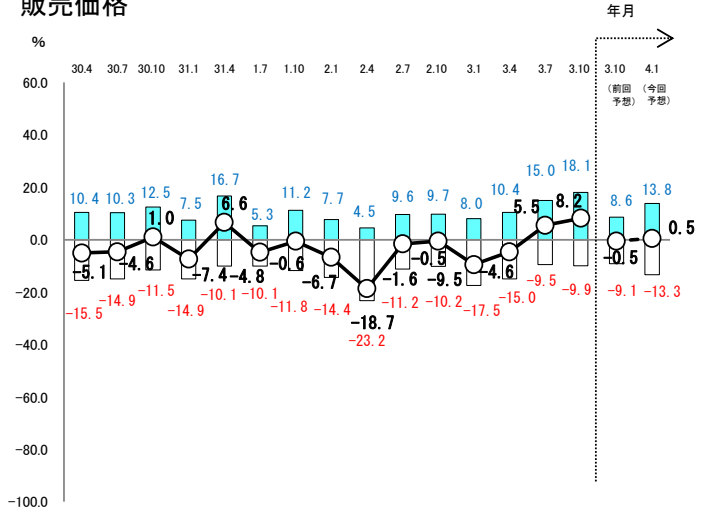
売上高



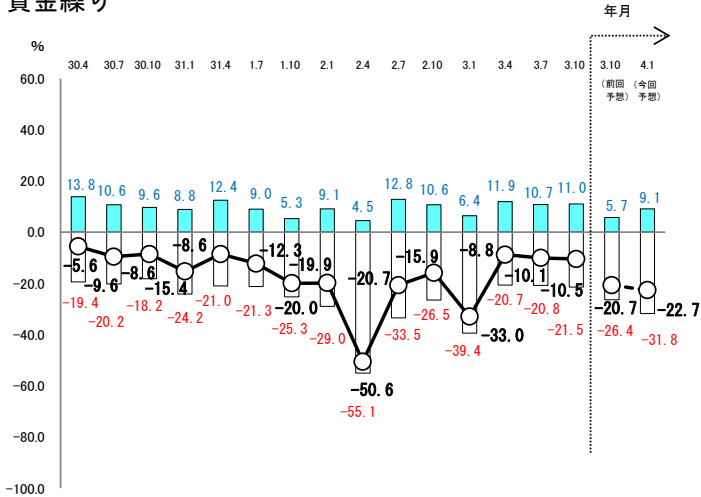
客数 (受注件数・取引先数)



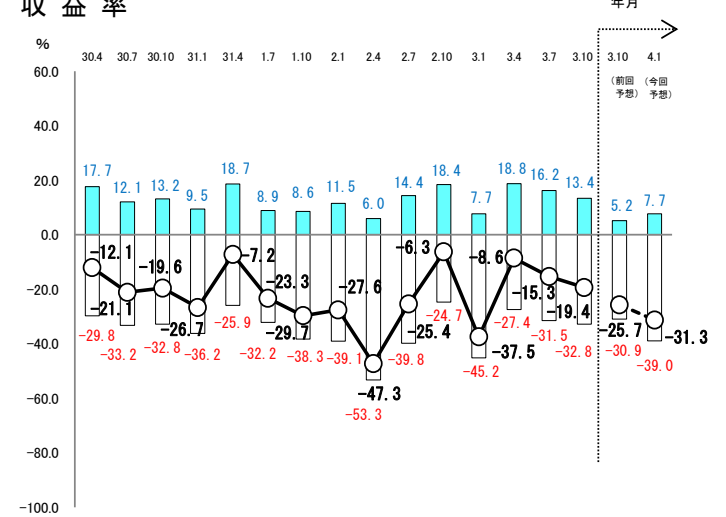
販売価格



資金繰り

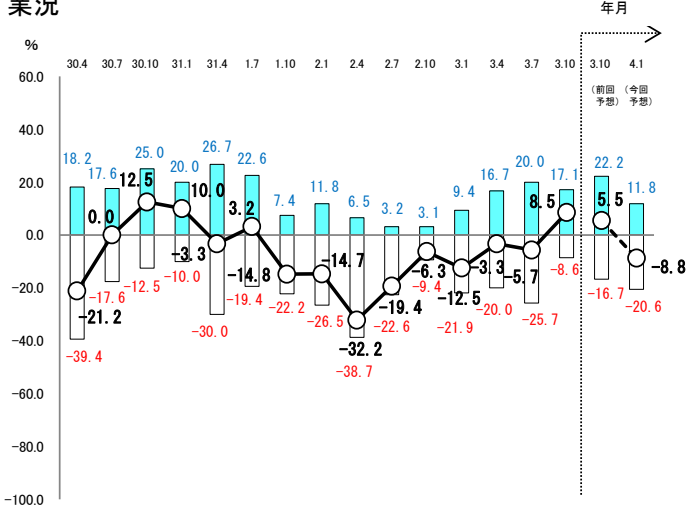


収益率

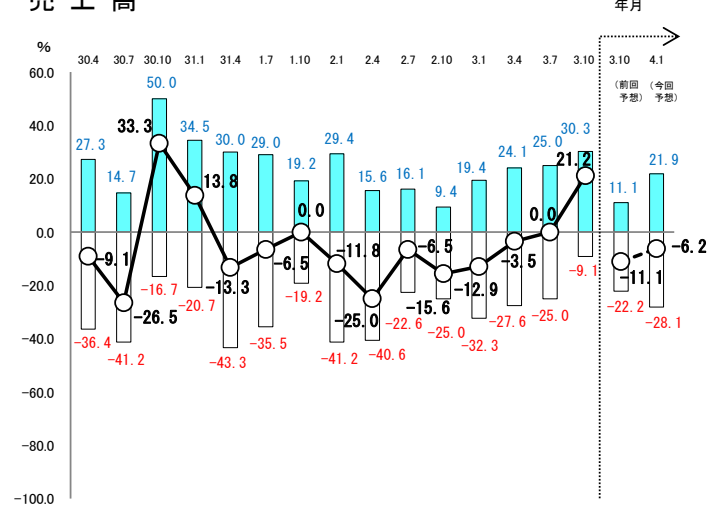


ア 建設業

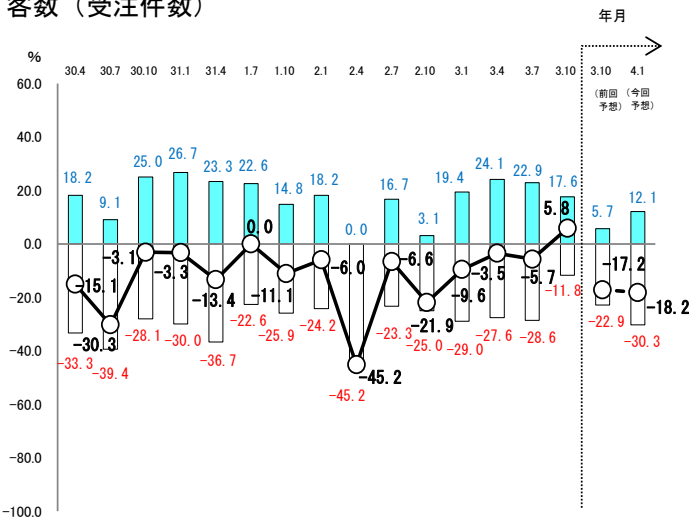
業況



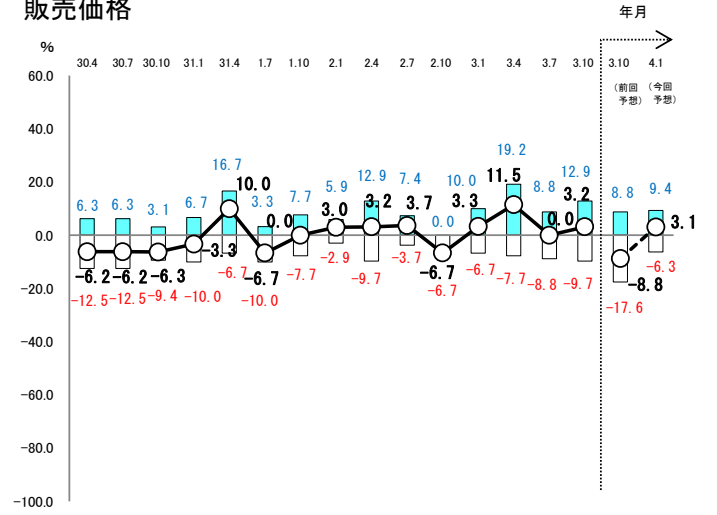
売上高



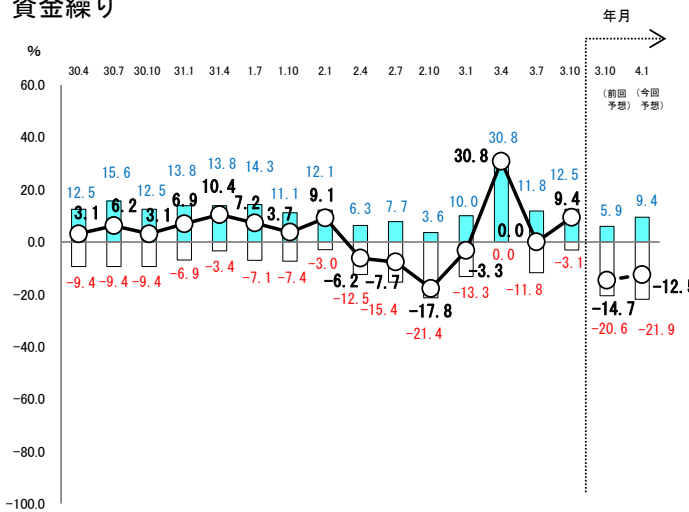
客数 (受注件数)



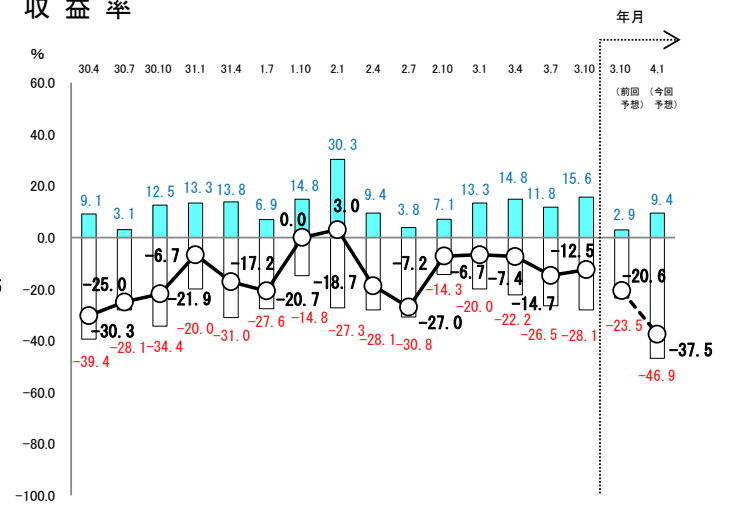
販売価格



資金繰り

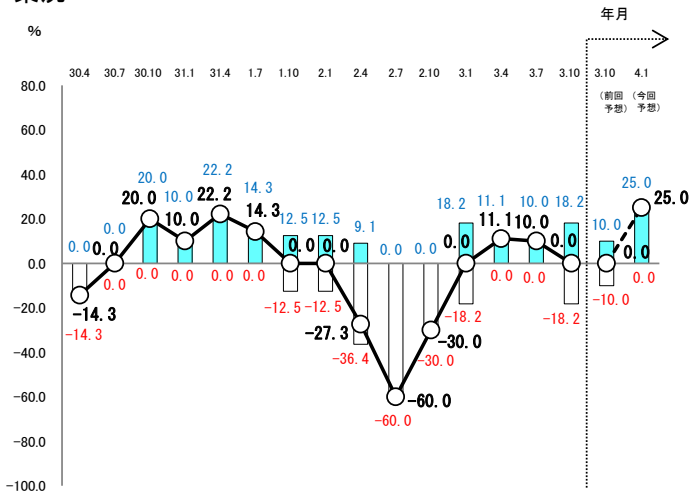


収益率

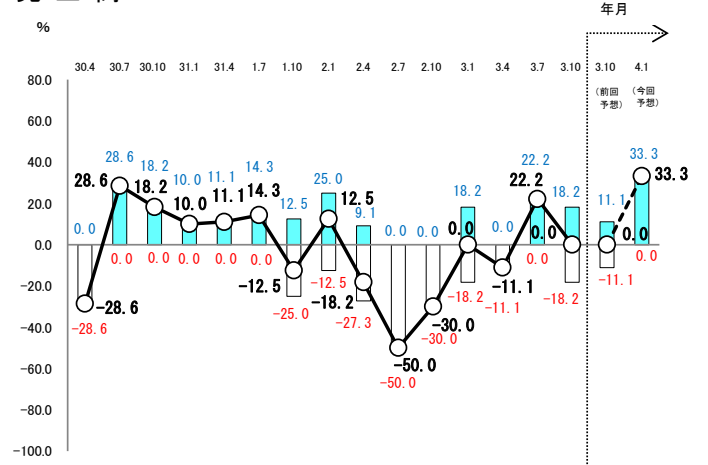


イ 情報サービス業

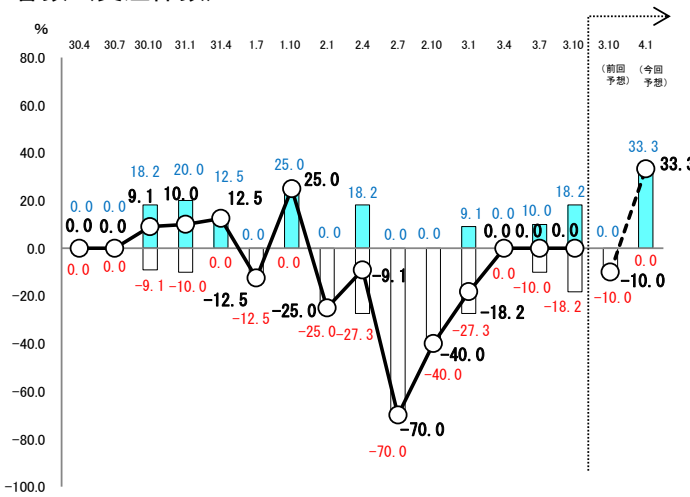
業況



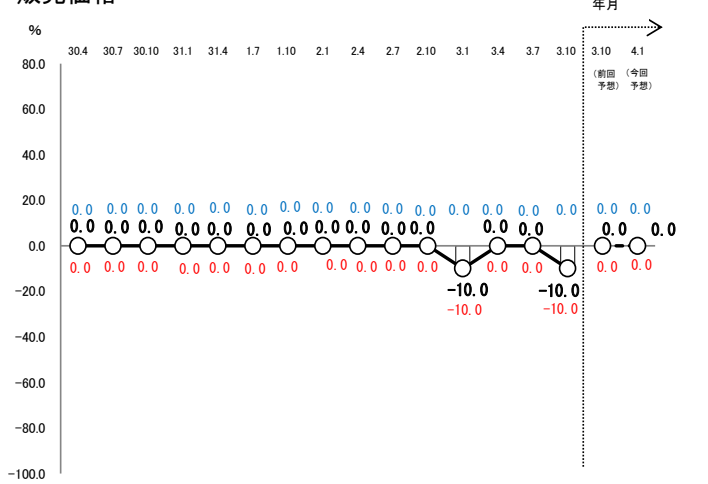
売上高



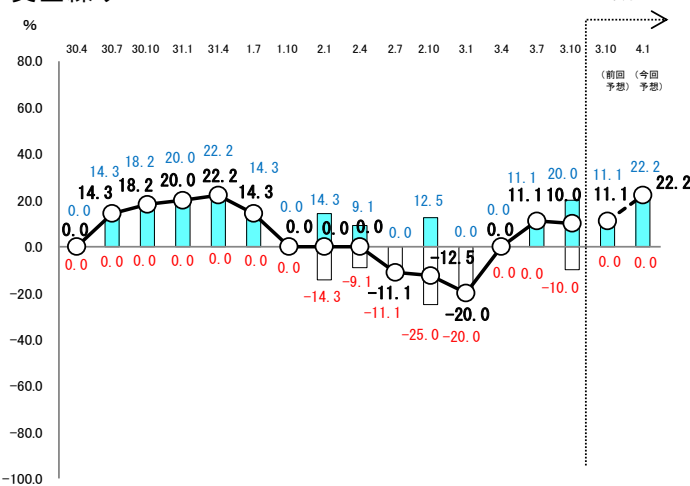
客数 (受注件数)



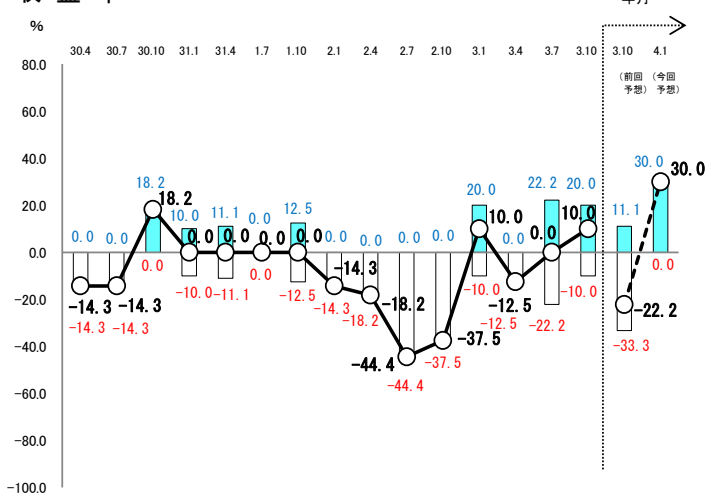
販売価格



資金繰り

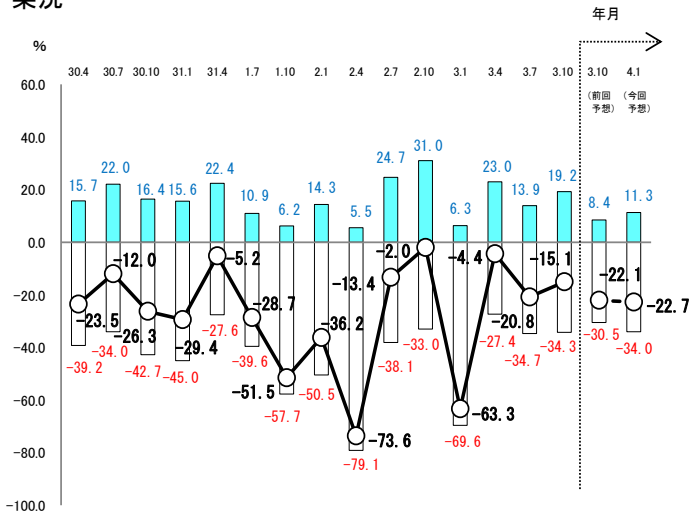


収益率

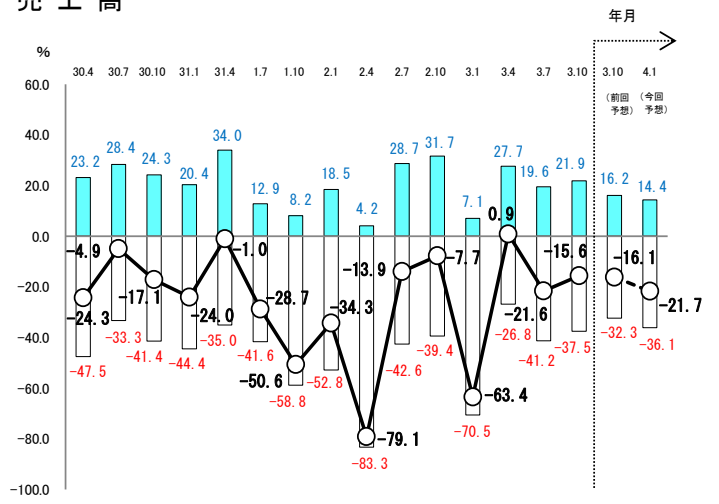


ウ 小売業

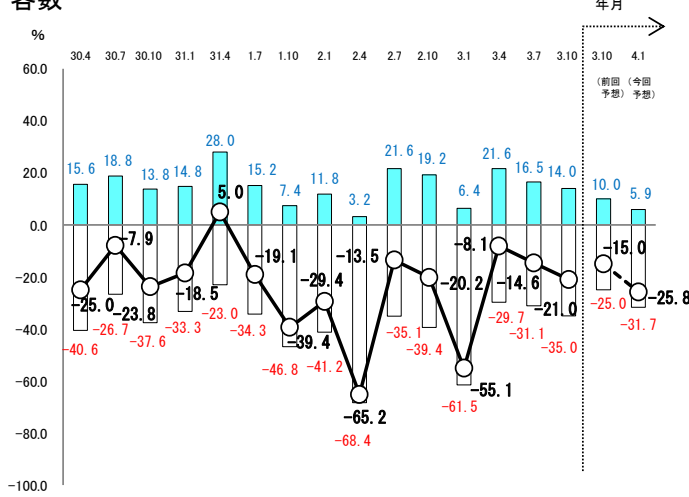
業況



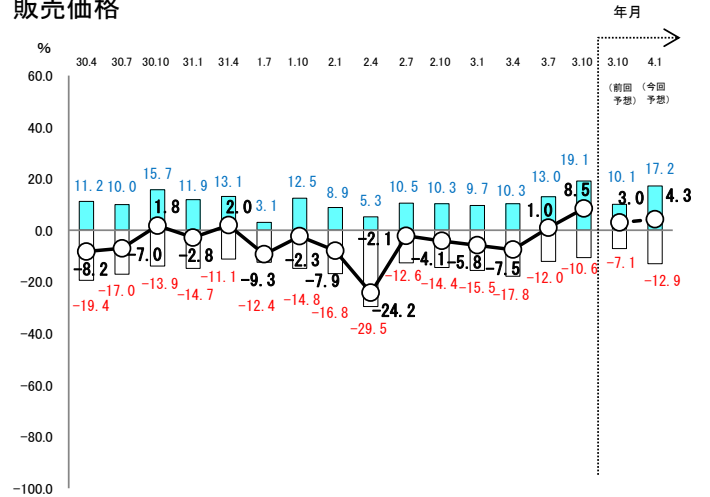
売上高



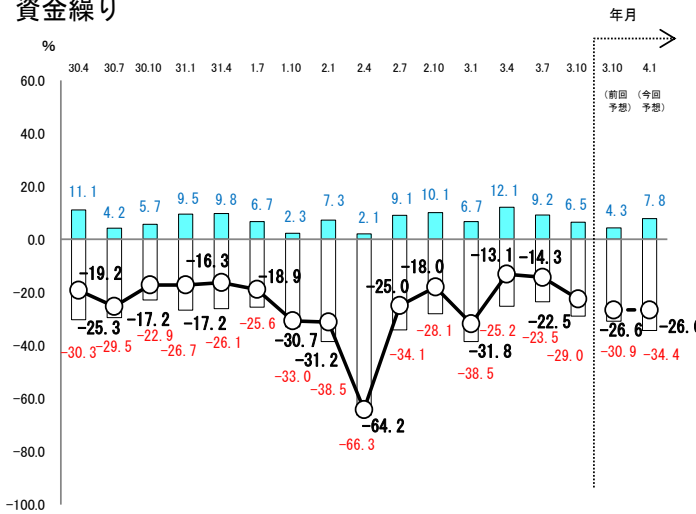
客数



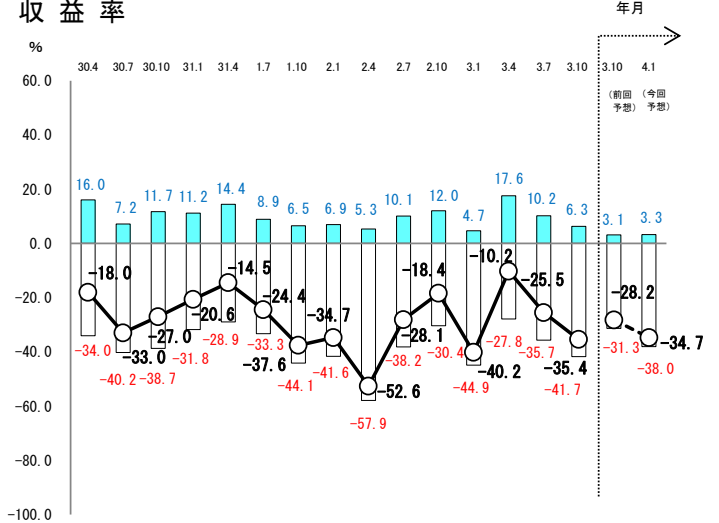
販売価格



資金繰り

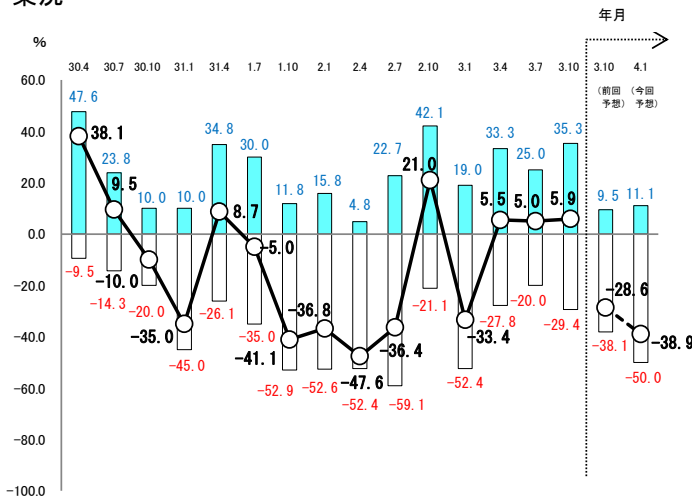


収益率

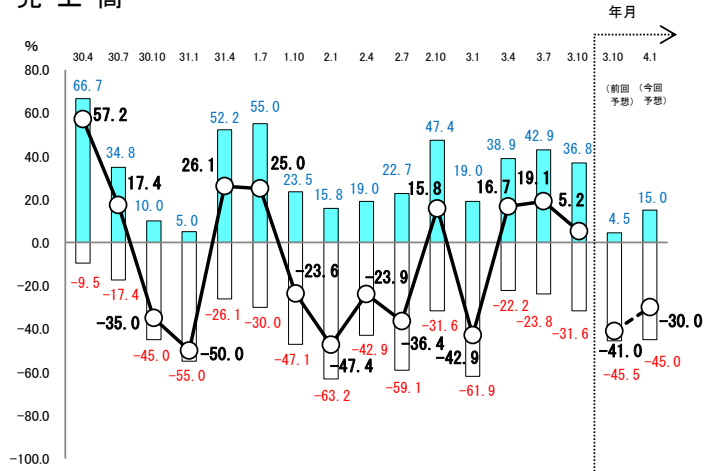


工 卸売業

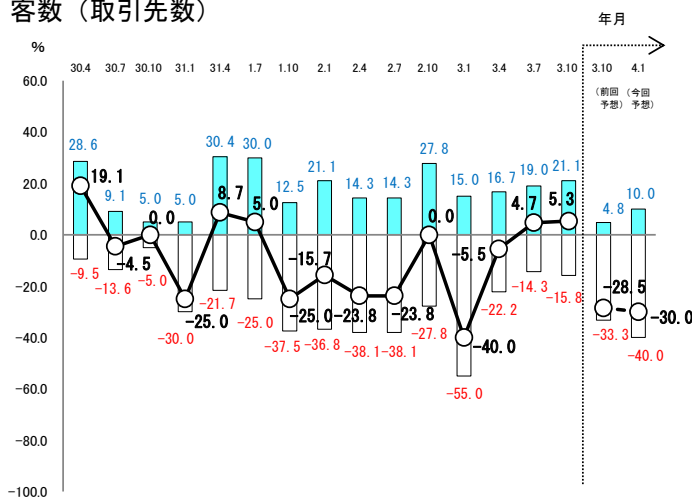
業況



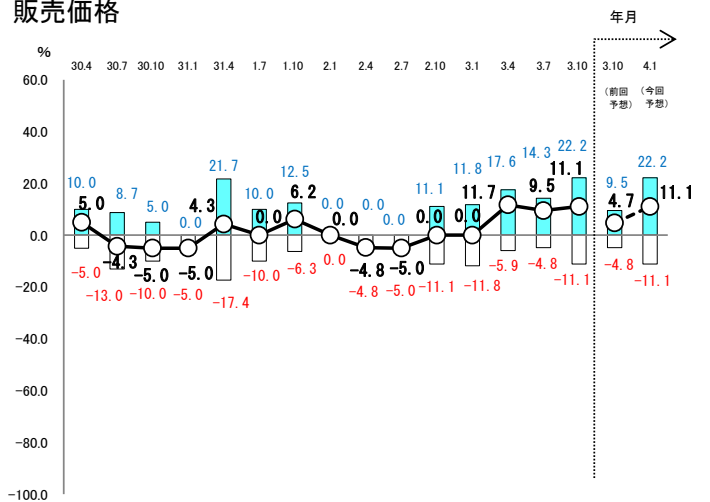
売上高



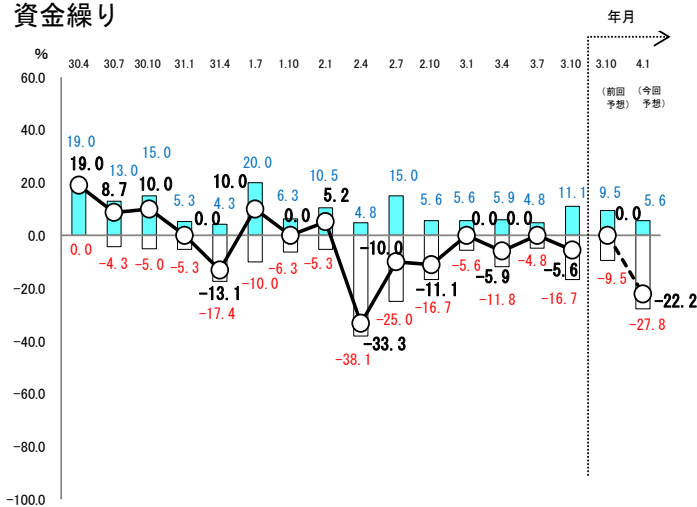
客数 (取引先数)



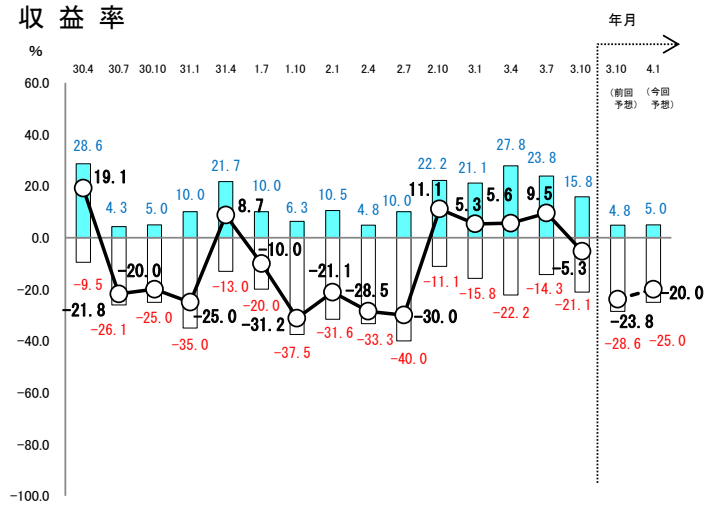
販売価格



資金繰り

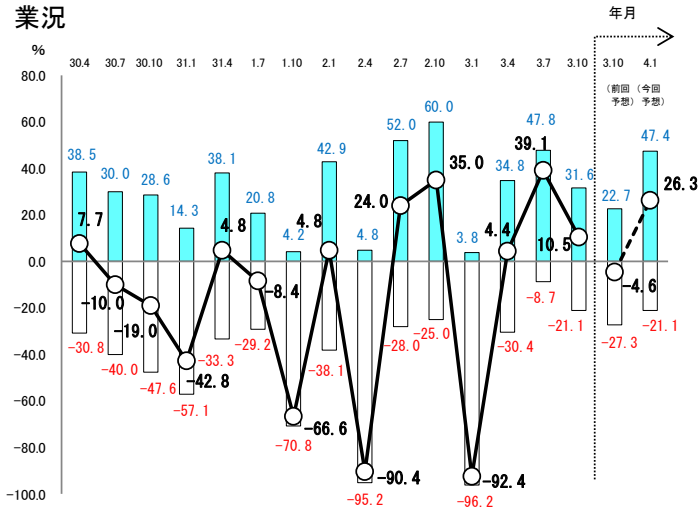


収益率

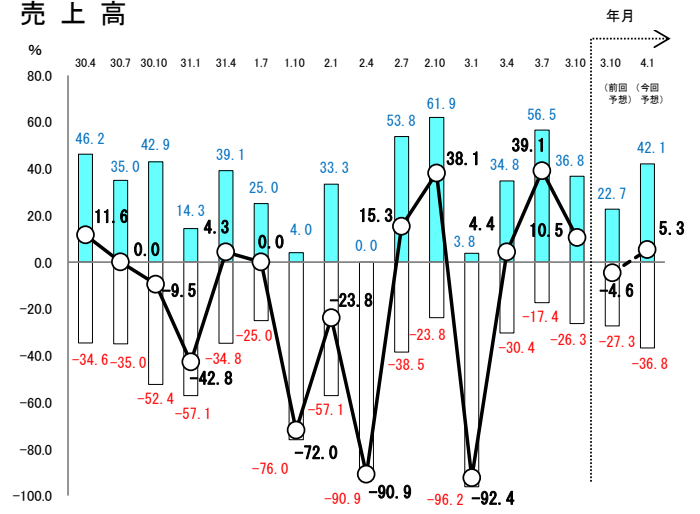


才 飲食業

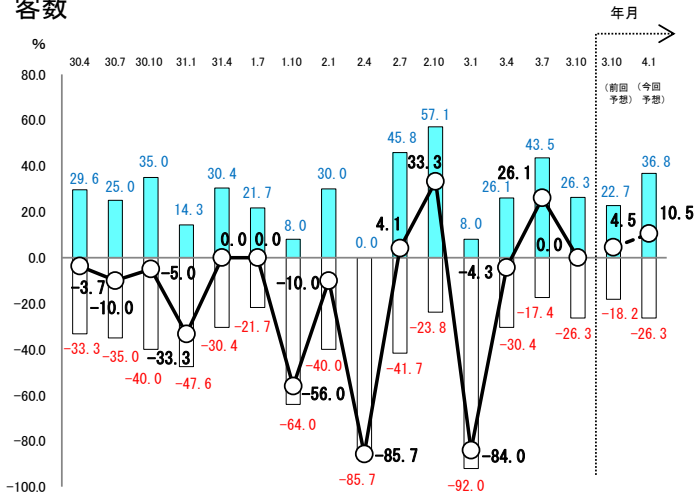
業況



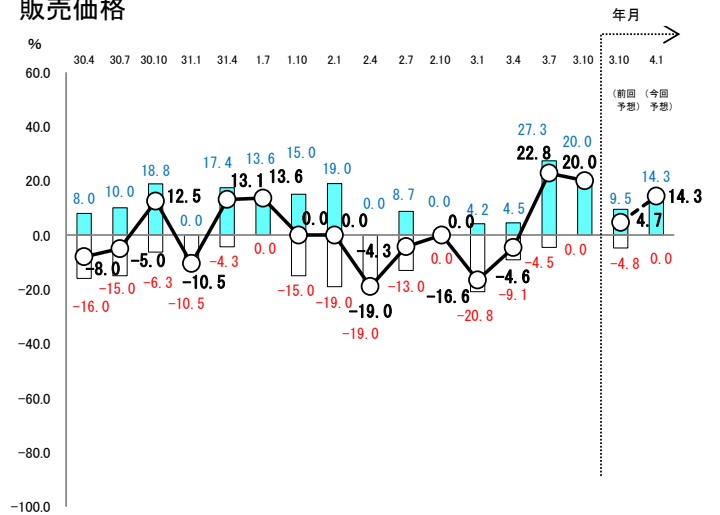
売上高



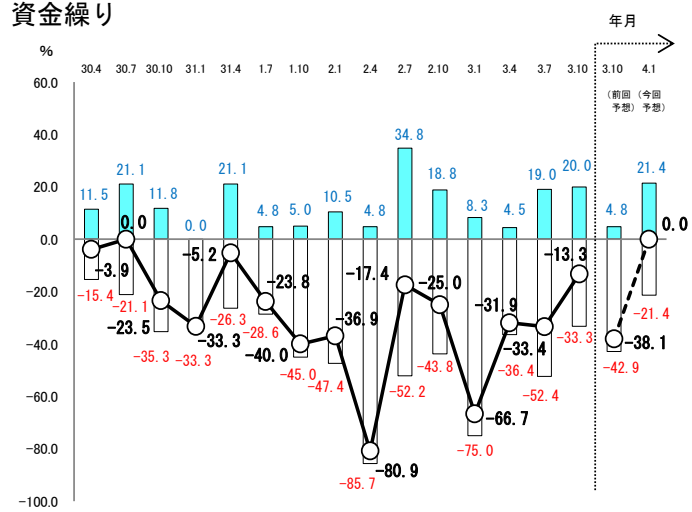
客数



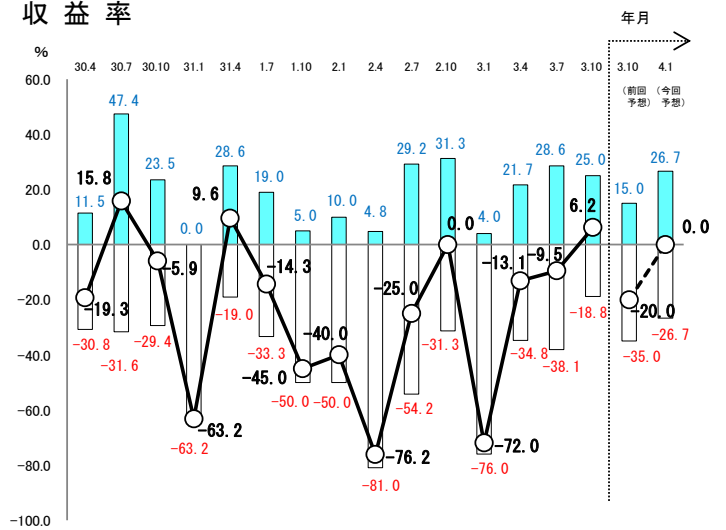
販売価格



資金繰り

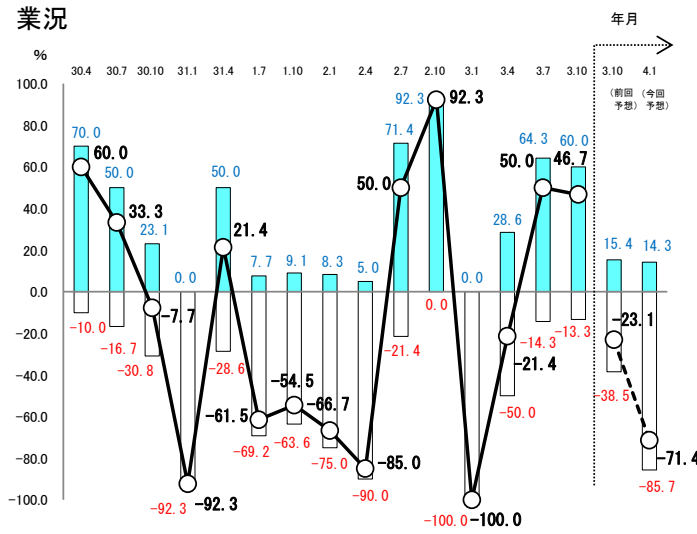


収益率

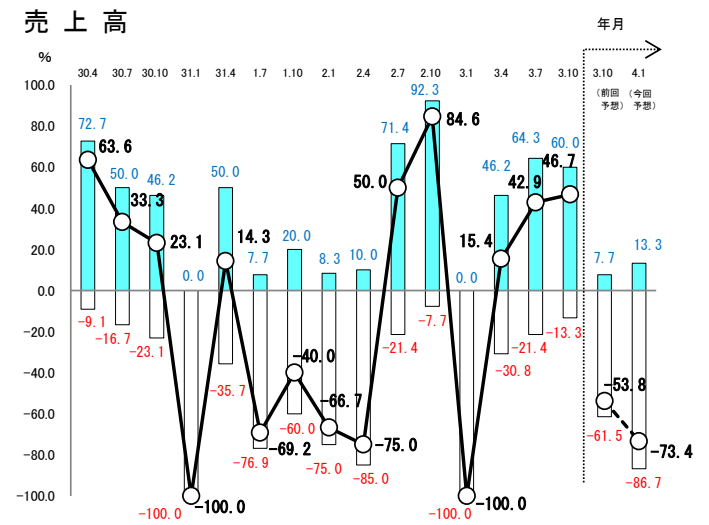


力 宿泊業

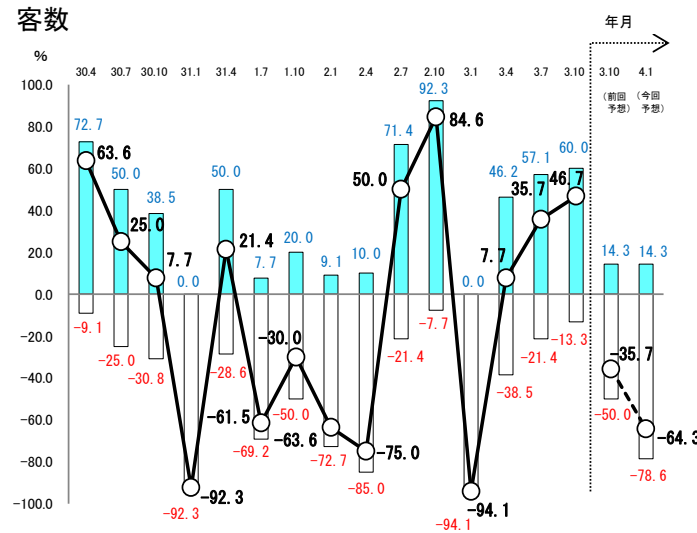
業況



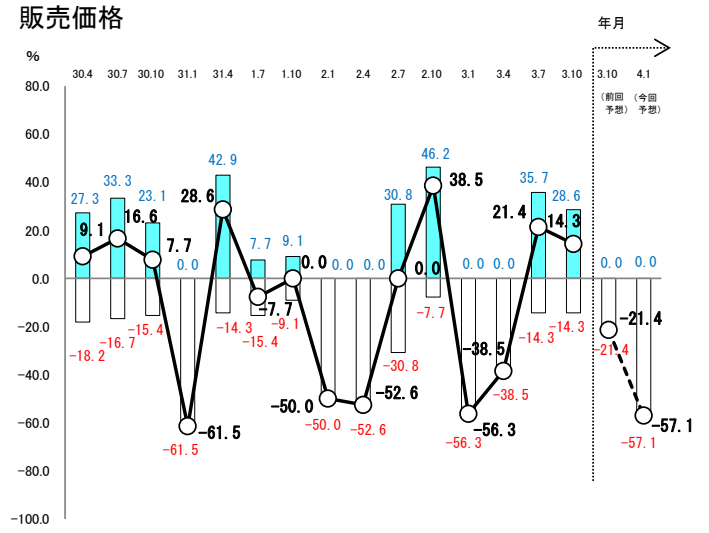
売上高



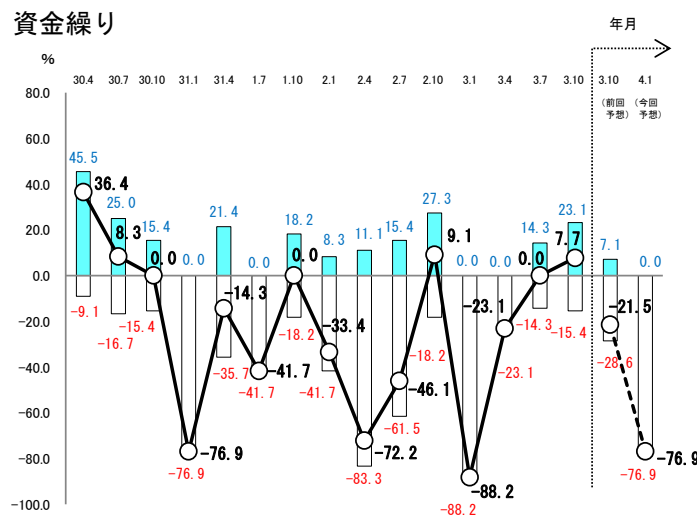
客数



販売価格



資金繰り



収益率

